

2019 年度後期学修行動基礎調査

静岡英和学院大学・静岡英和学院大学短期大学部

調査目的

本調査は、学生一人ひとりの学修行動について継続的に追跡することにより、本学が提供している教育・学習支援の方法や内容を評価するとともに、それに基づいての教育改善に役立てることを目的にしています。

調査概要

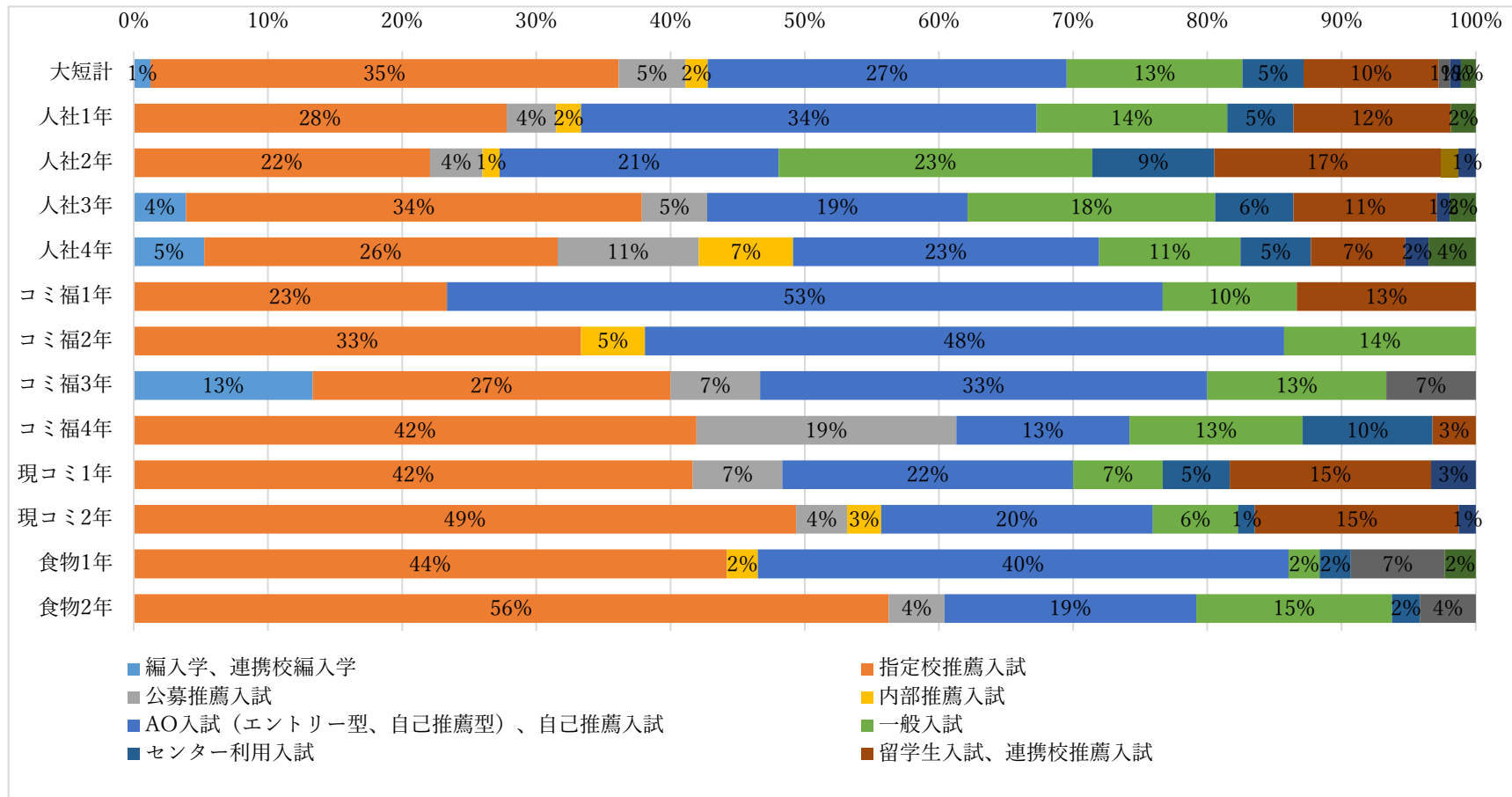
- ◆実施時期： 2020年1月
- ◆調査方法： 調査票とマークシートを配布し回答を求める
記名式（氏名・学籍番号）
- ◆調査対象： 大学1～4年生、短大部1・2年生

調査結果 (学科別集計値)

学部	学科		回答数	在籍学生数	回答率
人間社会学部	人間社会学科		399	511	78.1%
		4年	57	90	63.3%
		3年	103	117	88.0%
		2年	77	103	74.8%
		1年	162	201	80.6%
	コミュニティ福祉学科		97	177	54.8%
		4年	31	55	56.4%
		3年	15	39	38.5%
		2年	21	39	53.8%
		1年	30	44	68.2%
短期大学部	現代コミュニケーション学科		139	179	77.7%
		2年	79	89	88.8%
		1年	60	90	66.7%
	食物学科		91	107	85.0%
		2年	48	59	81.4%
		1年	43	48	89.6%
	総計	総計	726	974	74.5%

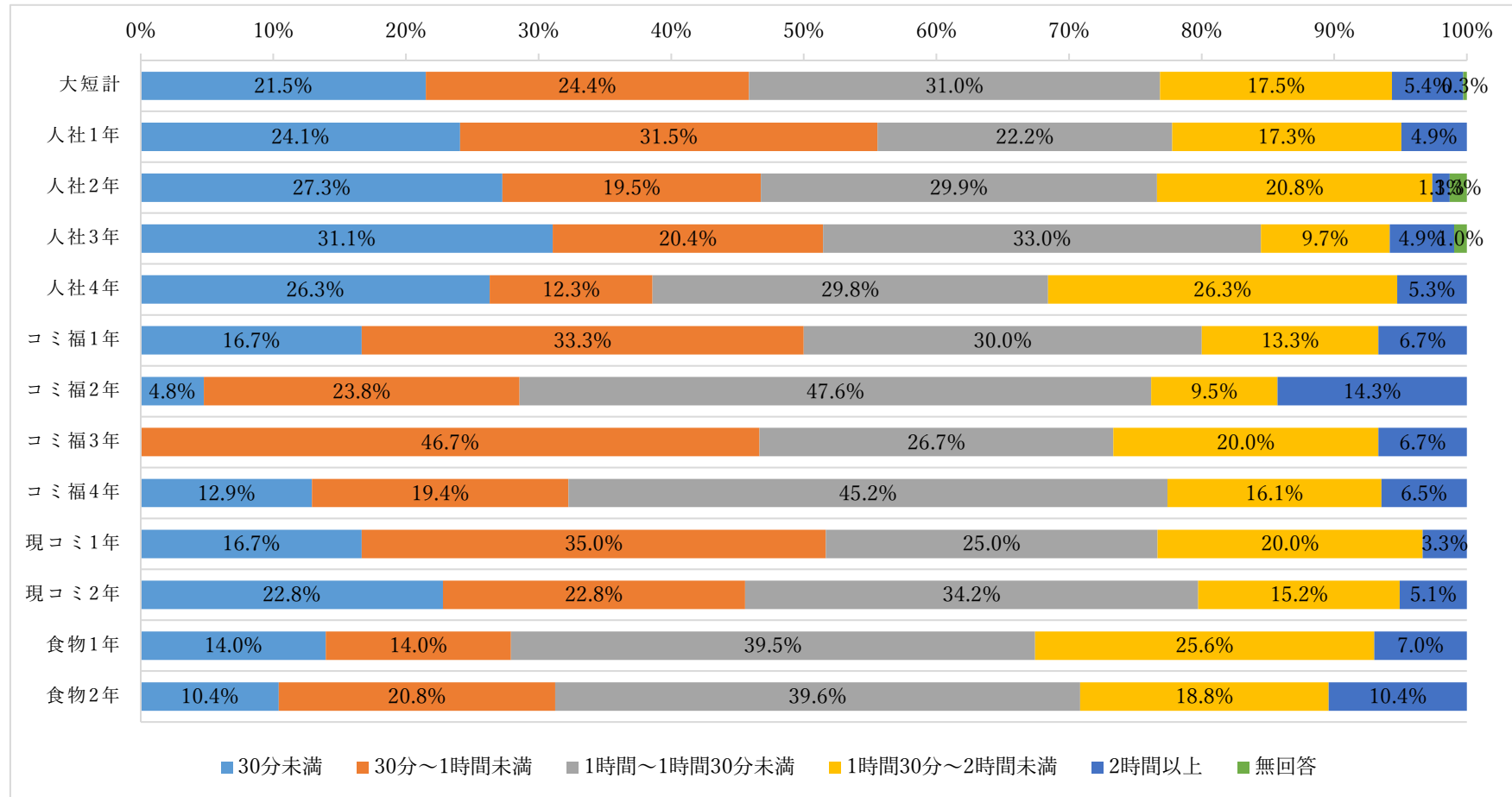
(1) あなたの受けた入学試験の種類を教えてください。

0. 編入学、連携校編入学 1. 指定校推薦入試 2. 公募推薦入試 3. 内部推薦入試
 4. AO入試（エントリー型、自己推薦型）自己推薦入試 5. 一般入試 6. センター利用入試
 7. 留学生入試、連携校推薦入試 8. 社会人入試 9. グローバル入試、帰国子女入試



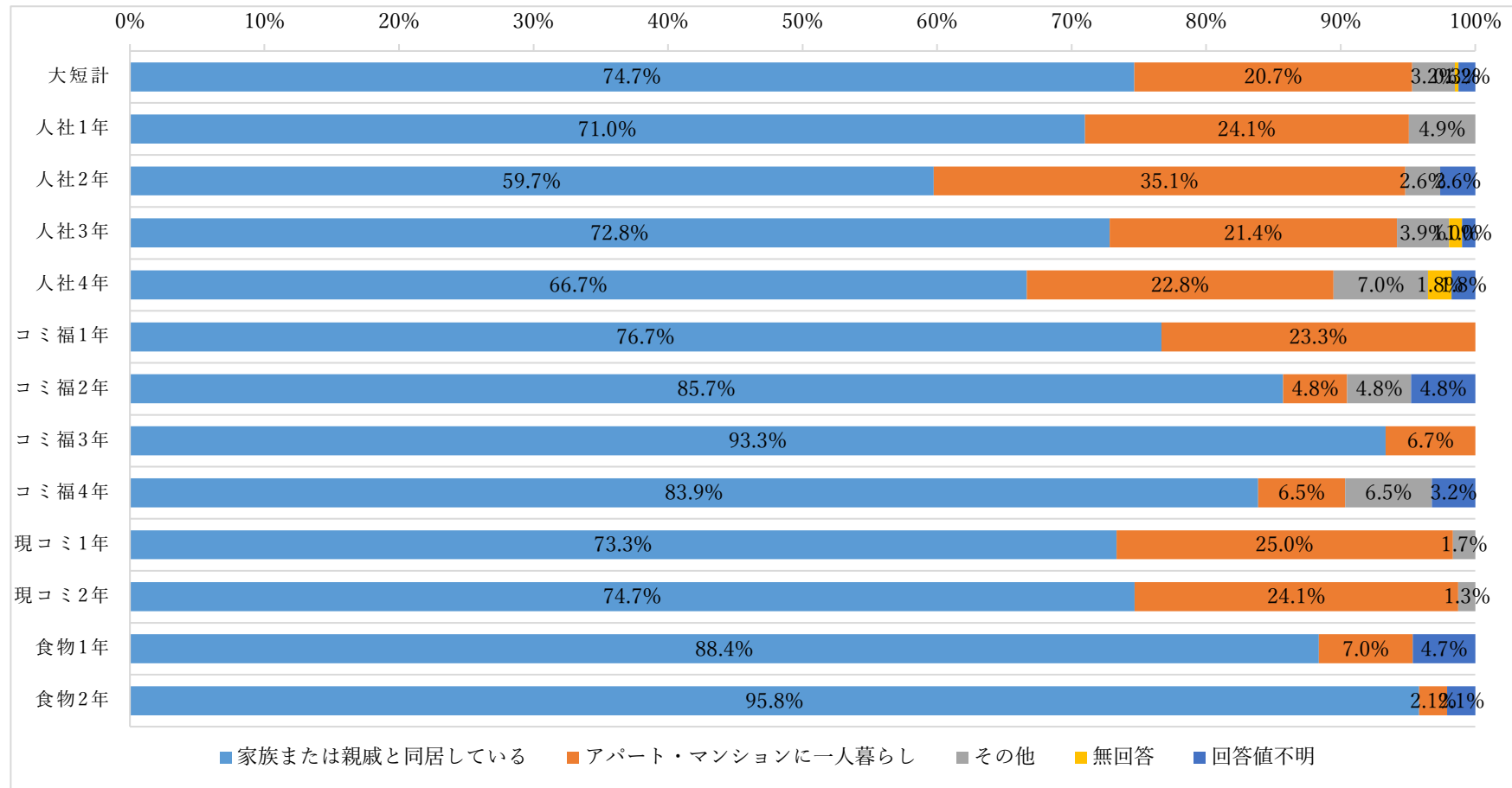
(2) あなたの片道の通学時間はどれくらいですか。

1. 30分未満 2. 30分～1時間未満 3. 1時間～1時間30分未満 4. 1時間30分～2時間未満 5. 2時間以上



(3) あなたの居住形態は次のうちどれにあてはまりますか。

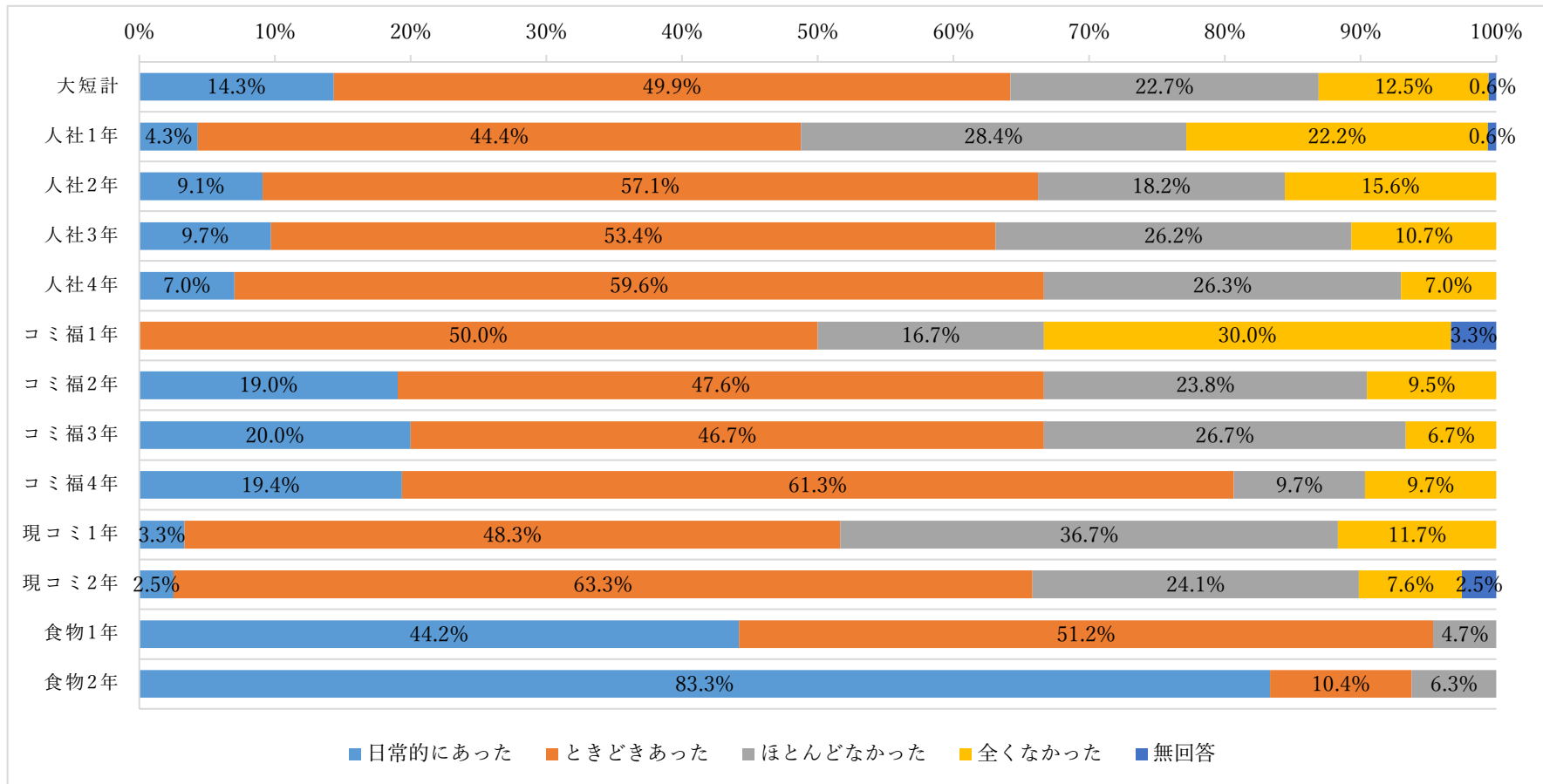
1. 家族または親戚と同居している 2. アパート・マンションに一人暮らし 3. その他



(4) あなたが受講した授業で、次の経験をする機会がどれくらいありましたか。

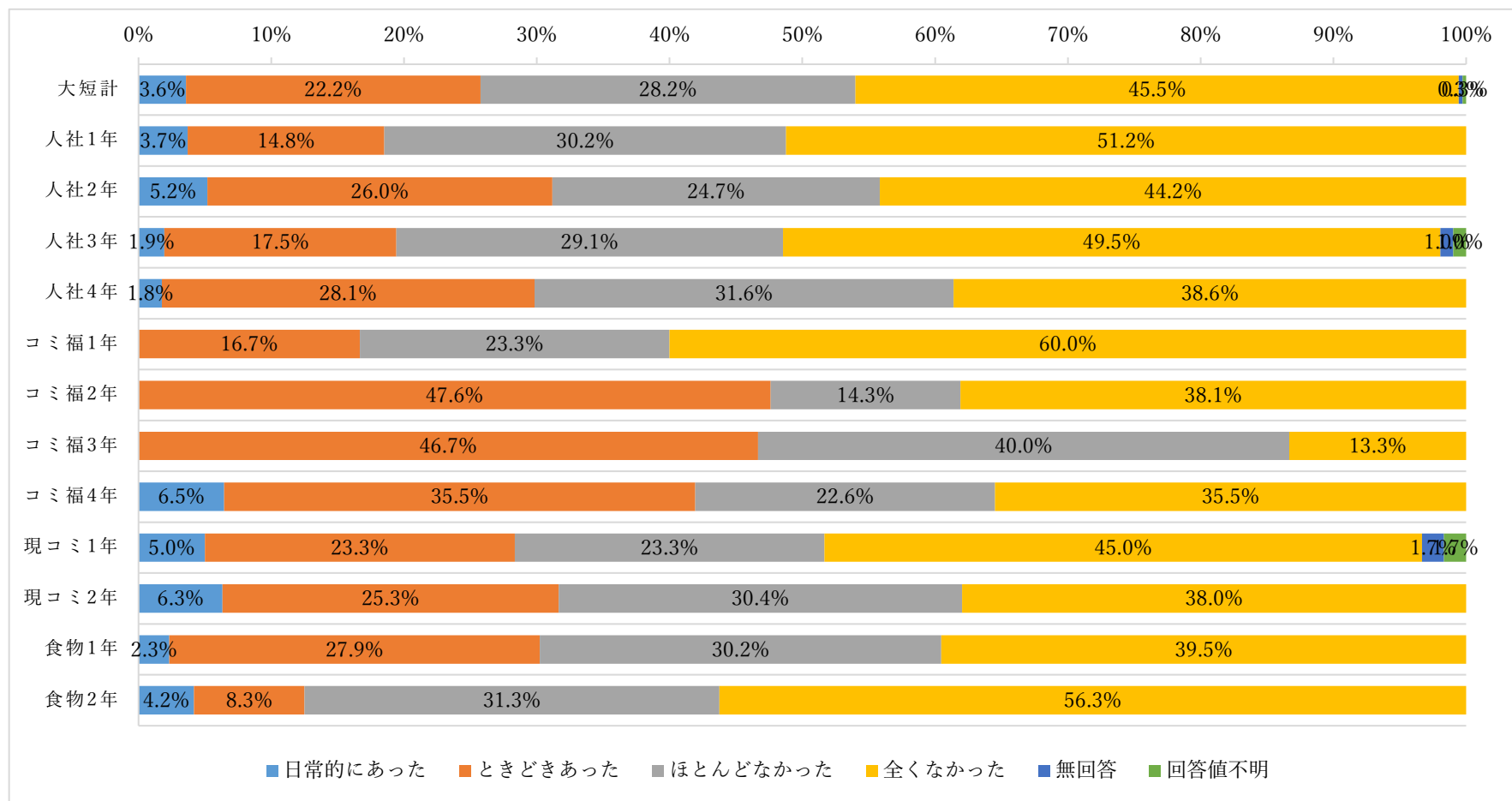
①実験、実習、フィールドワークなどを実施し、体験的に学ぶ

4. 日常的にあった 3. ときどきあった 2. ほとんどなかった 1. 全くなかった



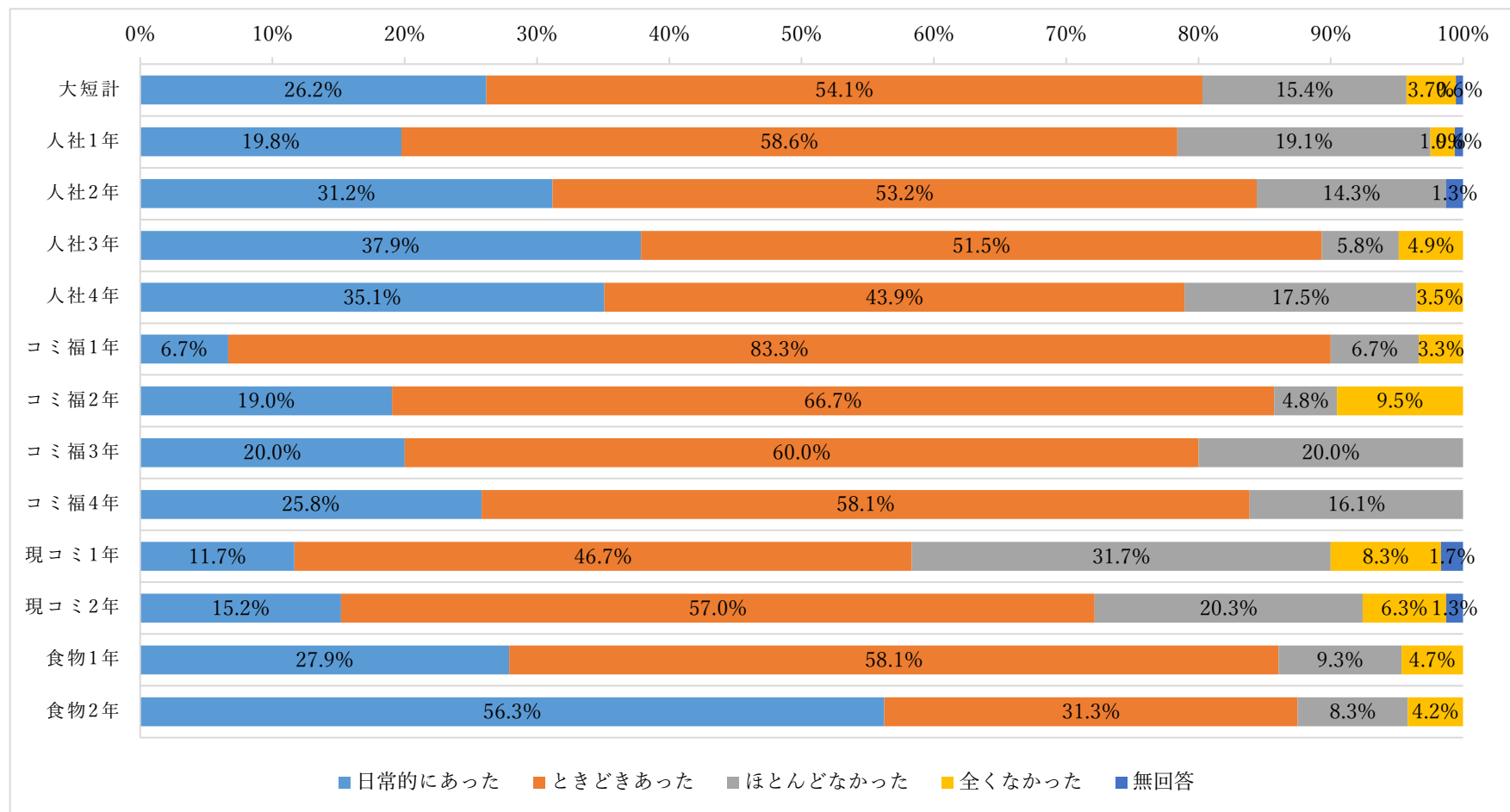
②授業の一環でボランティア活動をする。

4. 日常的にあった 3. ときどきあった 2. ほとんどなかった 1. 全くなかった



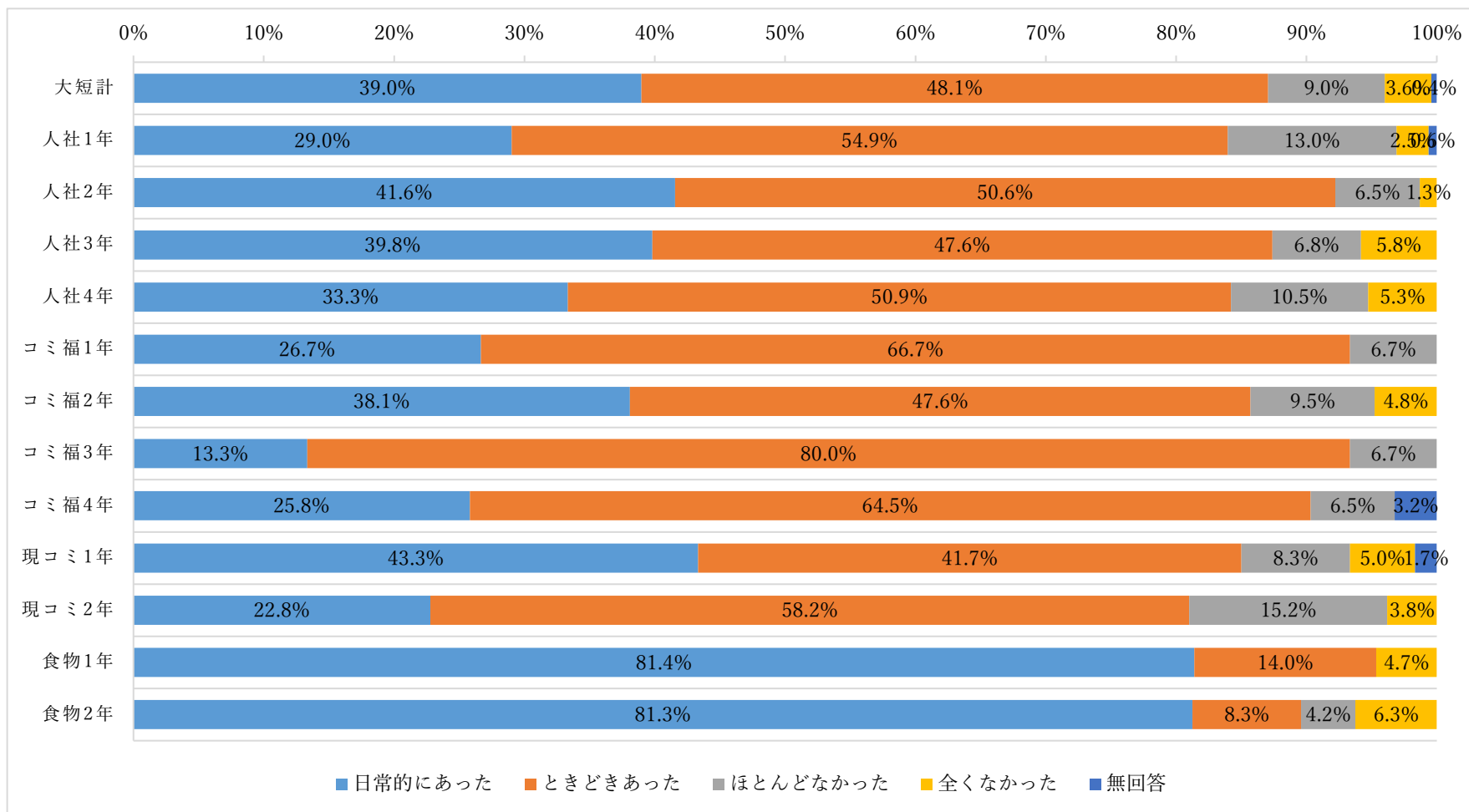
③学生自身が文献や資料を調べる

4. 日常的にあった 3. ときどきあった 2. ほとんどなかった 1. 全くなかった



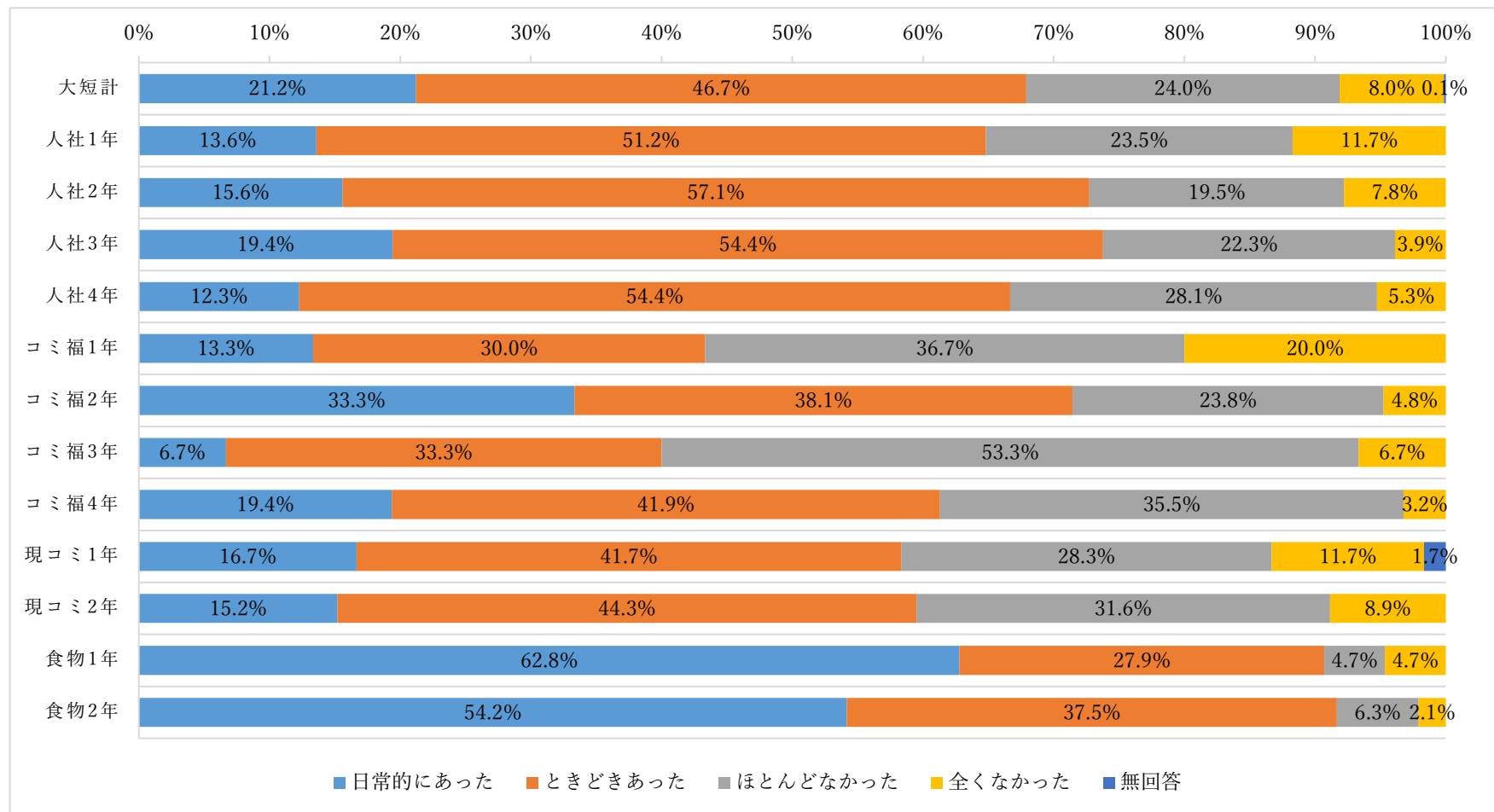
④定期的に小テストやレポートが課される

4. 日常的にあった 3. ときどきあった 2. ほとんどなかった 1. 全くなかった



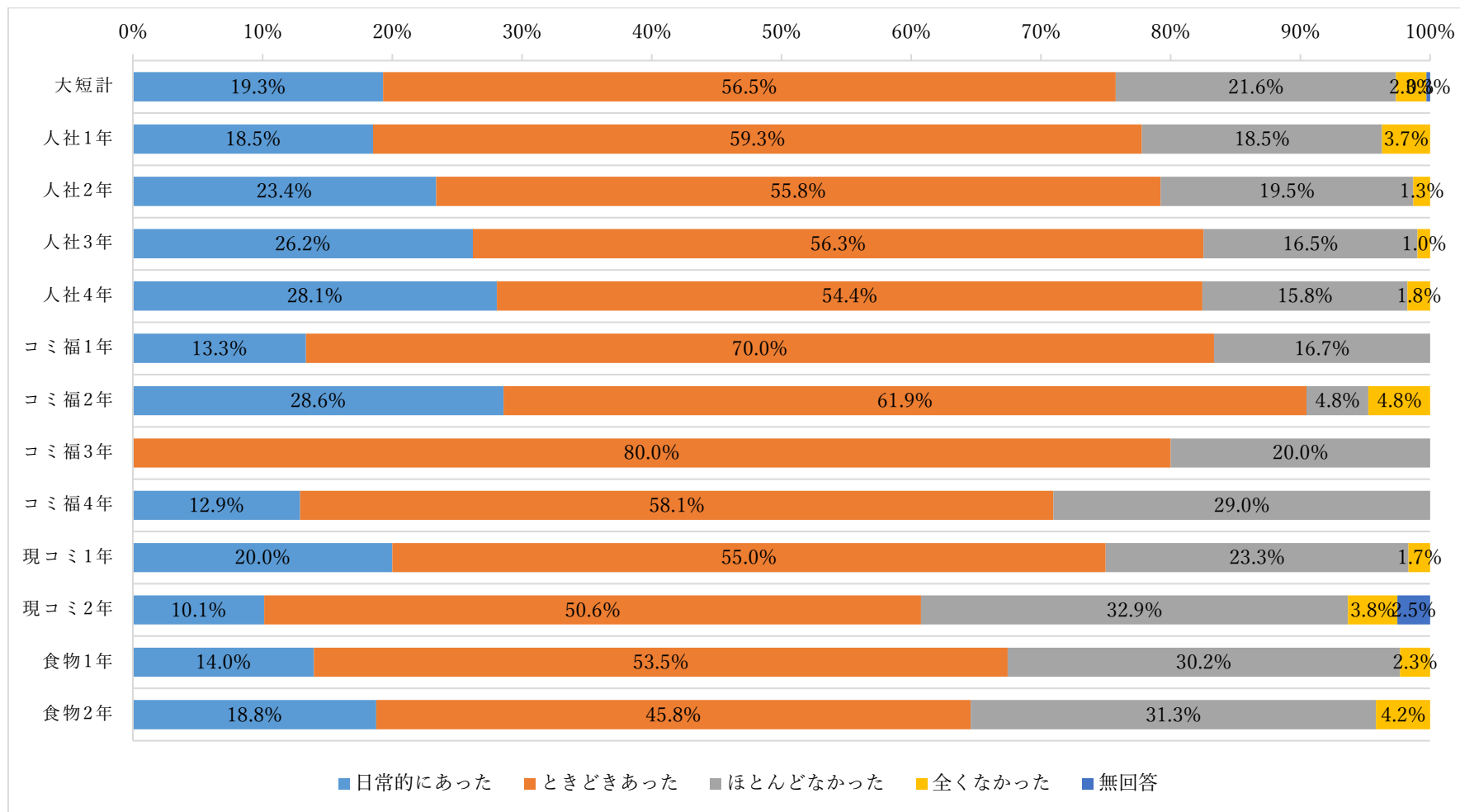
⑤教員が提出物にコメントを添えたり添削したりして返却する

4. 日常的にあった 3. ときどきあった 2. ほとんどなかった 1. 全くなかった



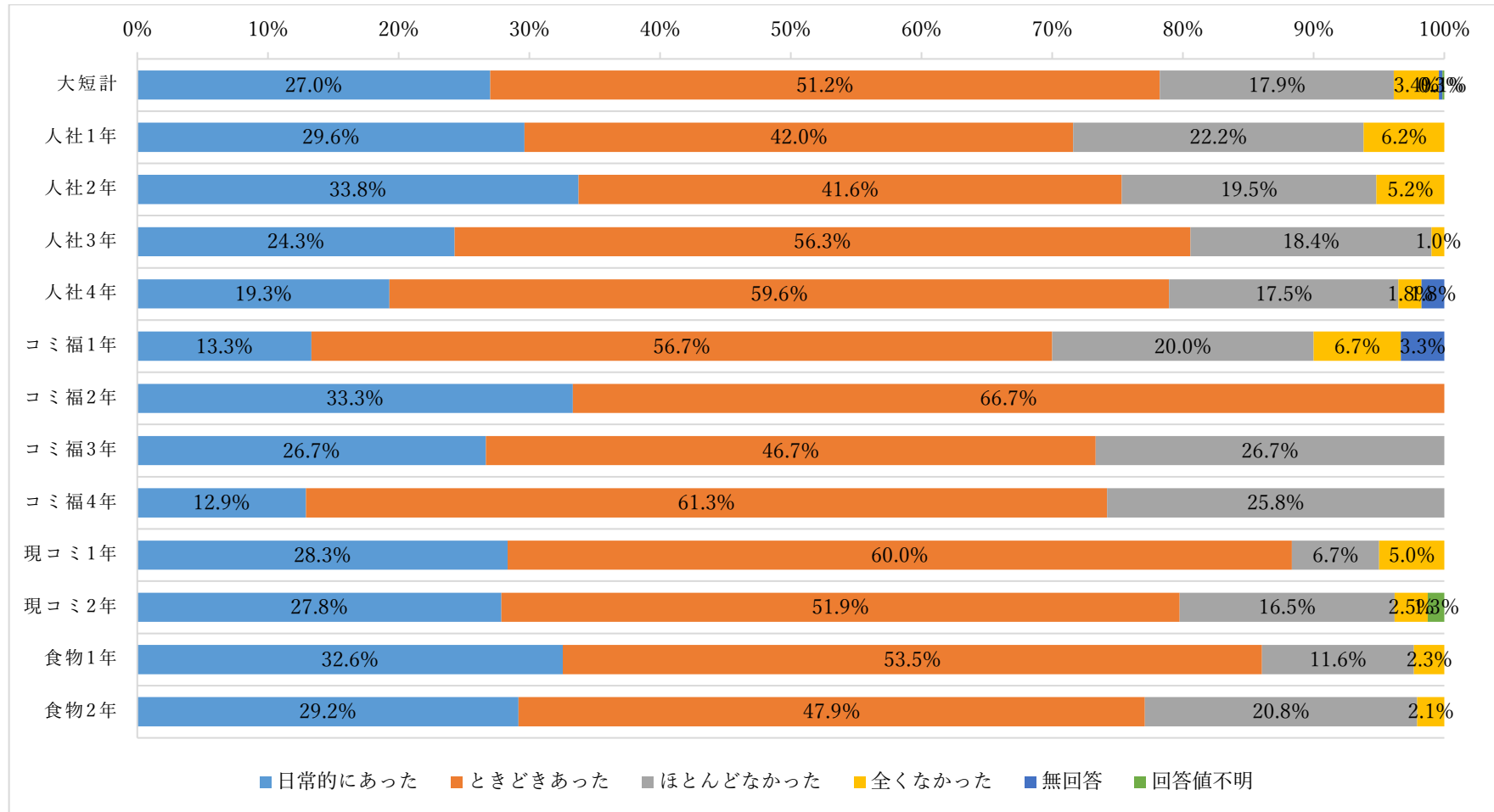
⑥学生が自分の考えや研究を発表する

4. 日常的にあった 3. ときどきあった 2. ほとんどなかった 1. 全くなかった



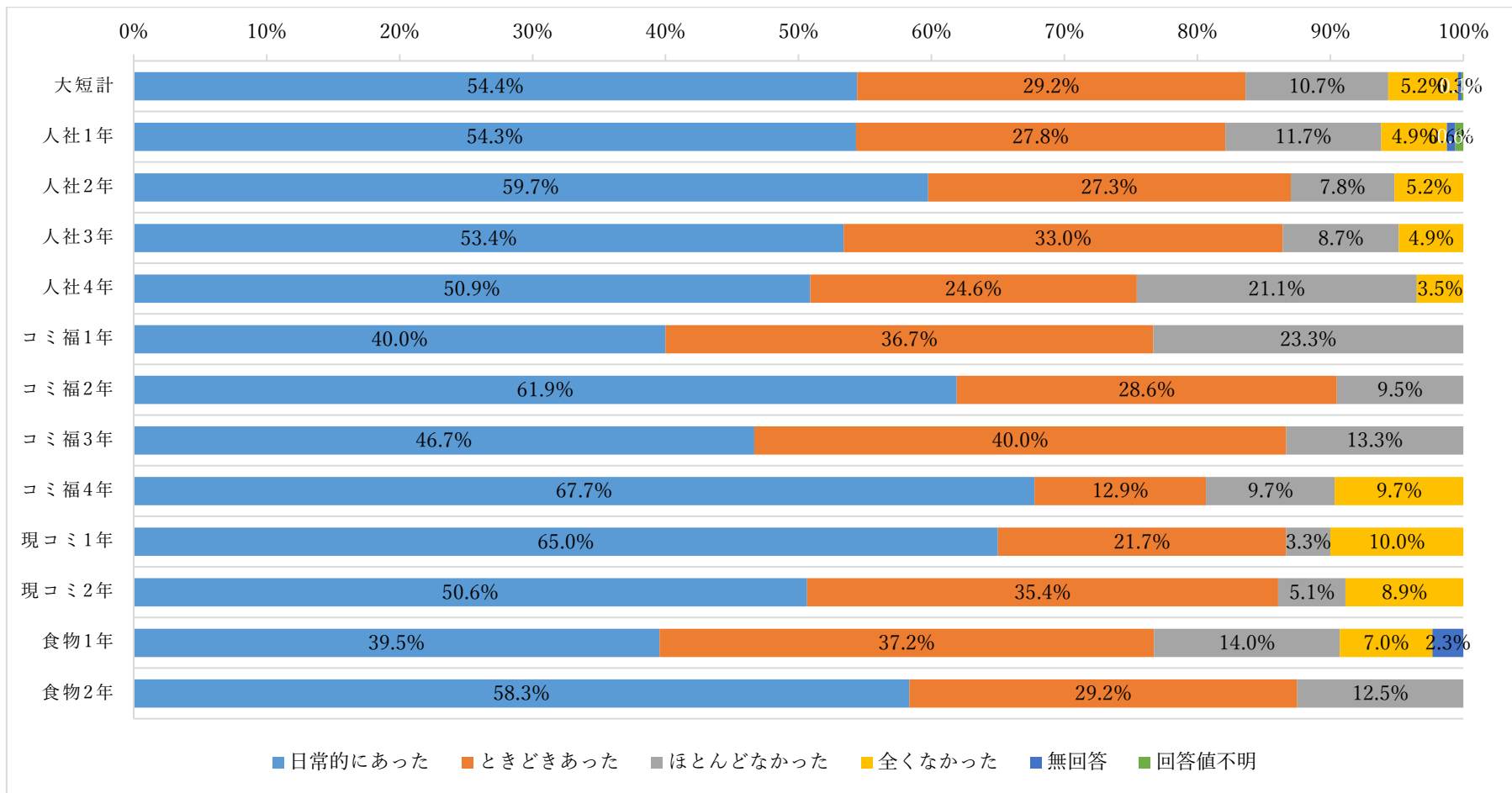
⑦学生同士でグループワークをする

4. 日常的にあった 3. ときどきあった 2. ほとんどなかった 1. 全くなかった



⑧出席が重視される

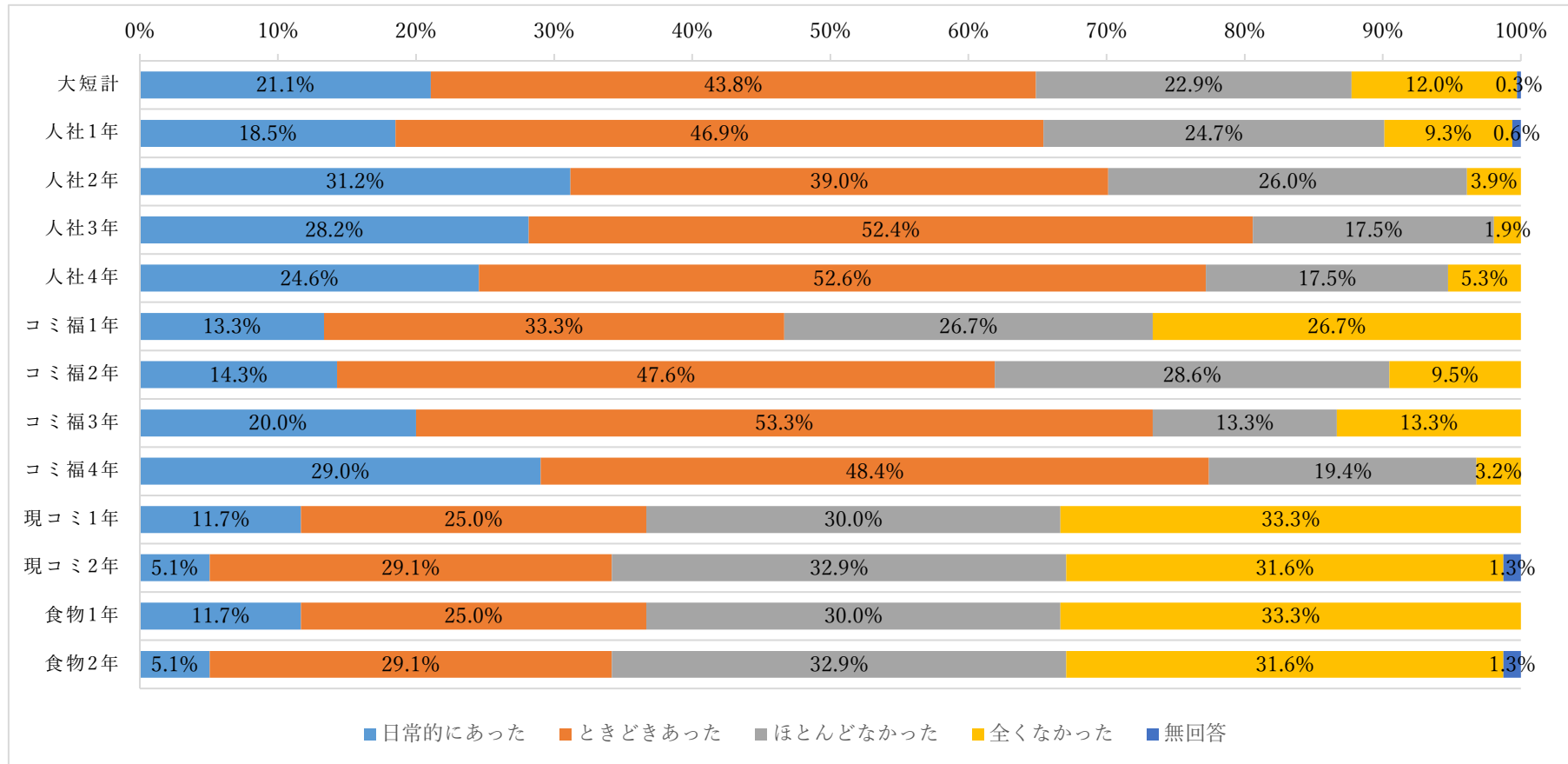
4. 日常的にあった 3. ときどきあった 2. ほとんどなかった 1. 全くなかった



(5) 授業や授業以外の学習で、次のことをどれくらいしましたか

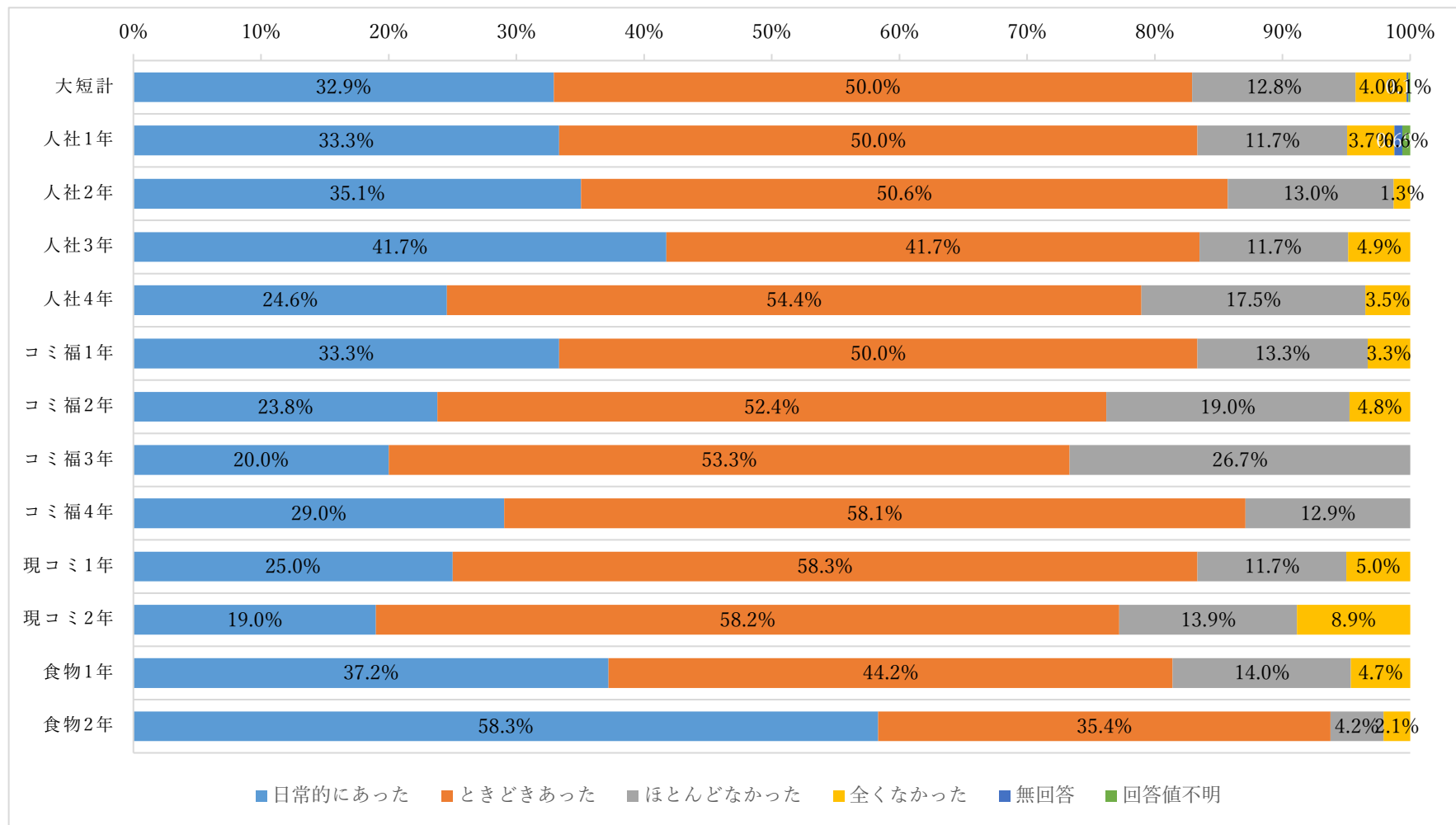
①授業課題のため図書館の資料を利用した

4. 日常的にした 3. ときどきした 2. ほとんどしなかった 1. 全くしなかった



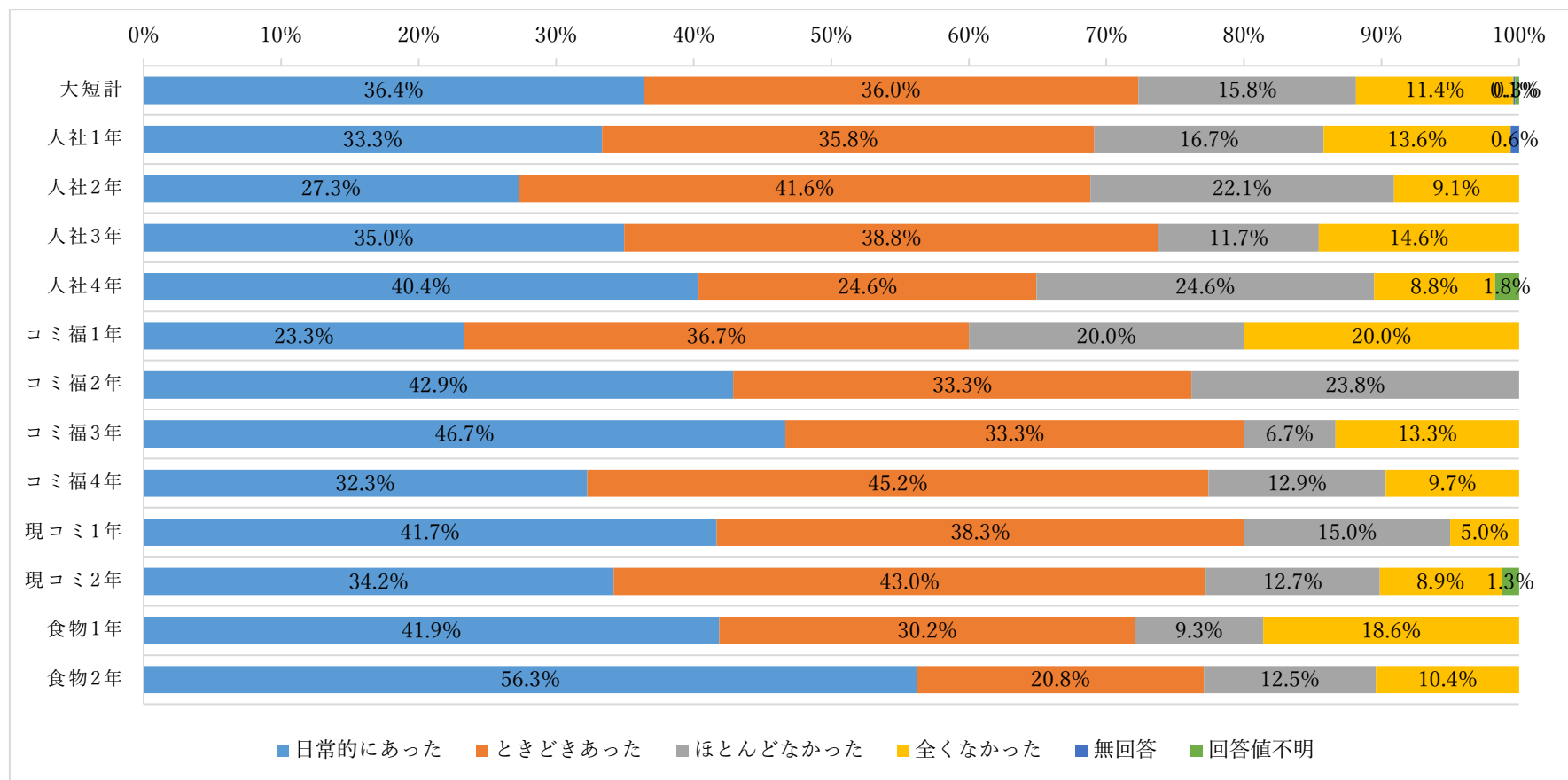
②授業課題のため WEB 上の情報を利用した

4. 日常的にした 3. ときどきした 2. ほとんどしなかった 1. 全くしなかった



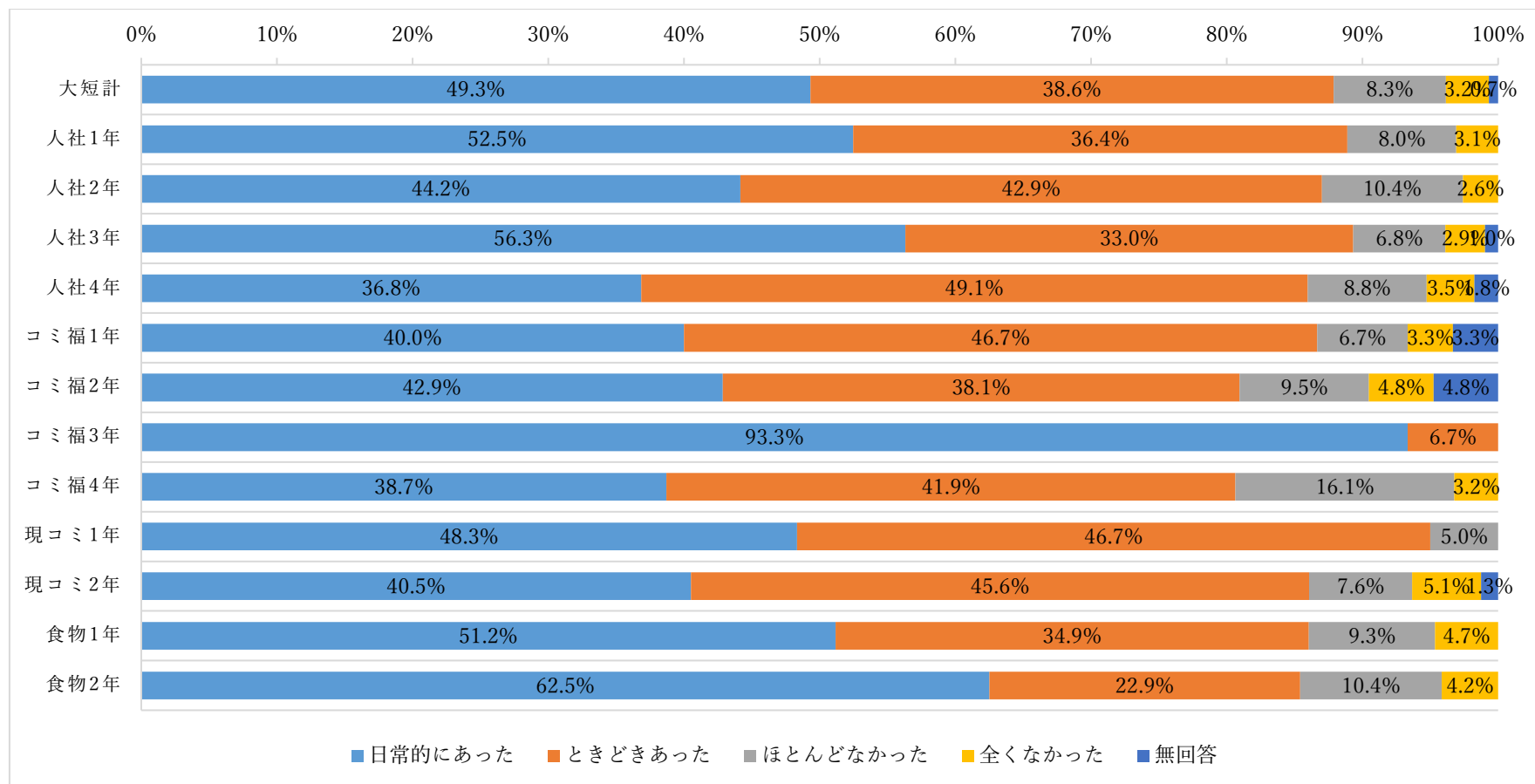
③他の学生や教員と、SNS（Facebook LINE Twitter Instagram 等）を利用してコミュニケーションをとった

4. 日常的にした 3. ときどきした 2. ほとんどしなかった 1. 全くしなかった



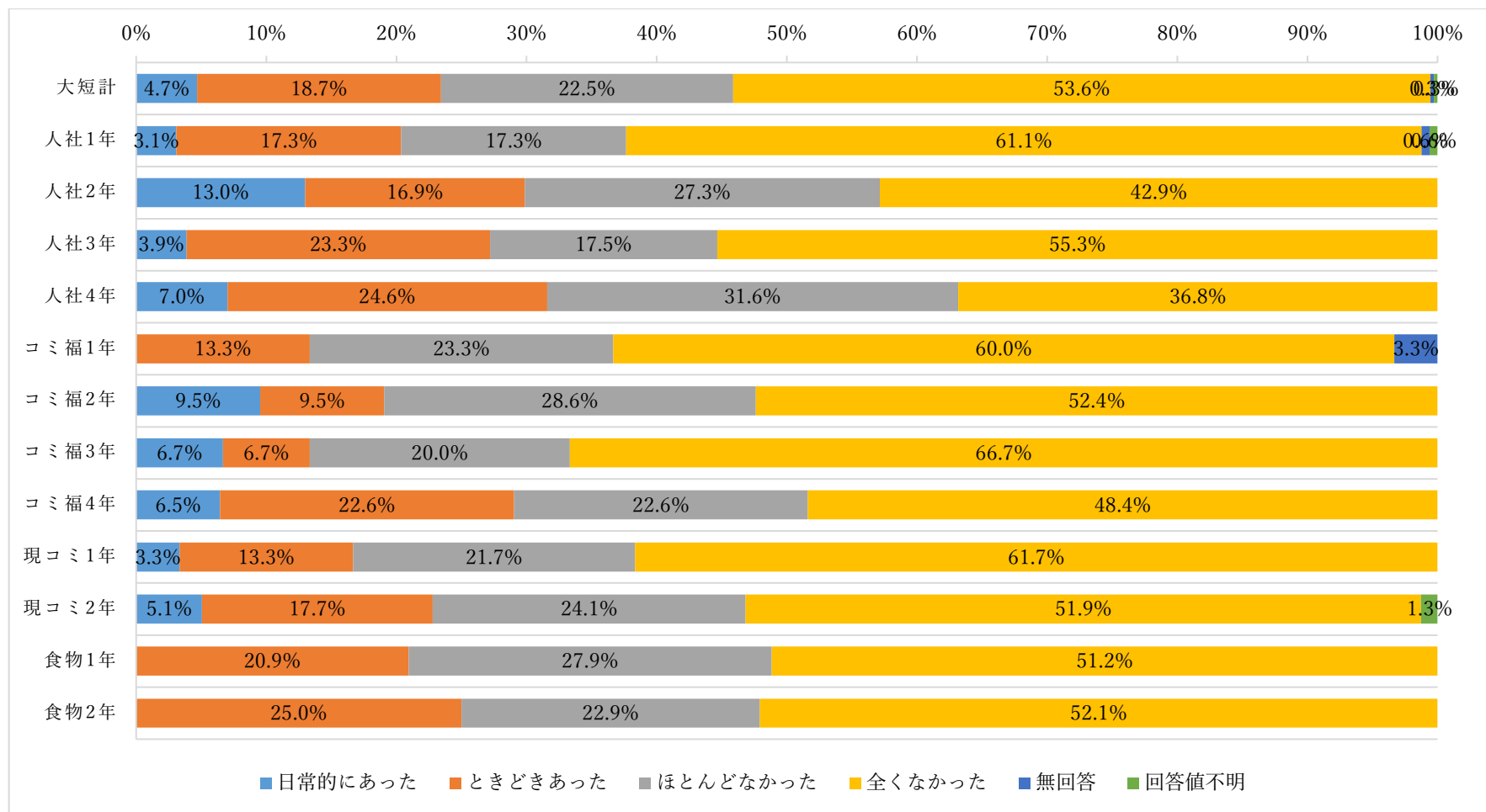
④授業に集中して取り組んだ

4. 日常的にした 3. ときどきした 2. ほとんどしなかった 1. 全くしなかった



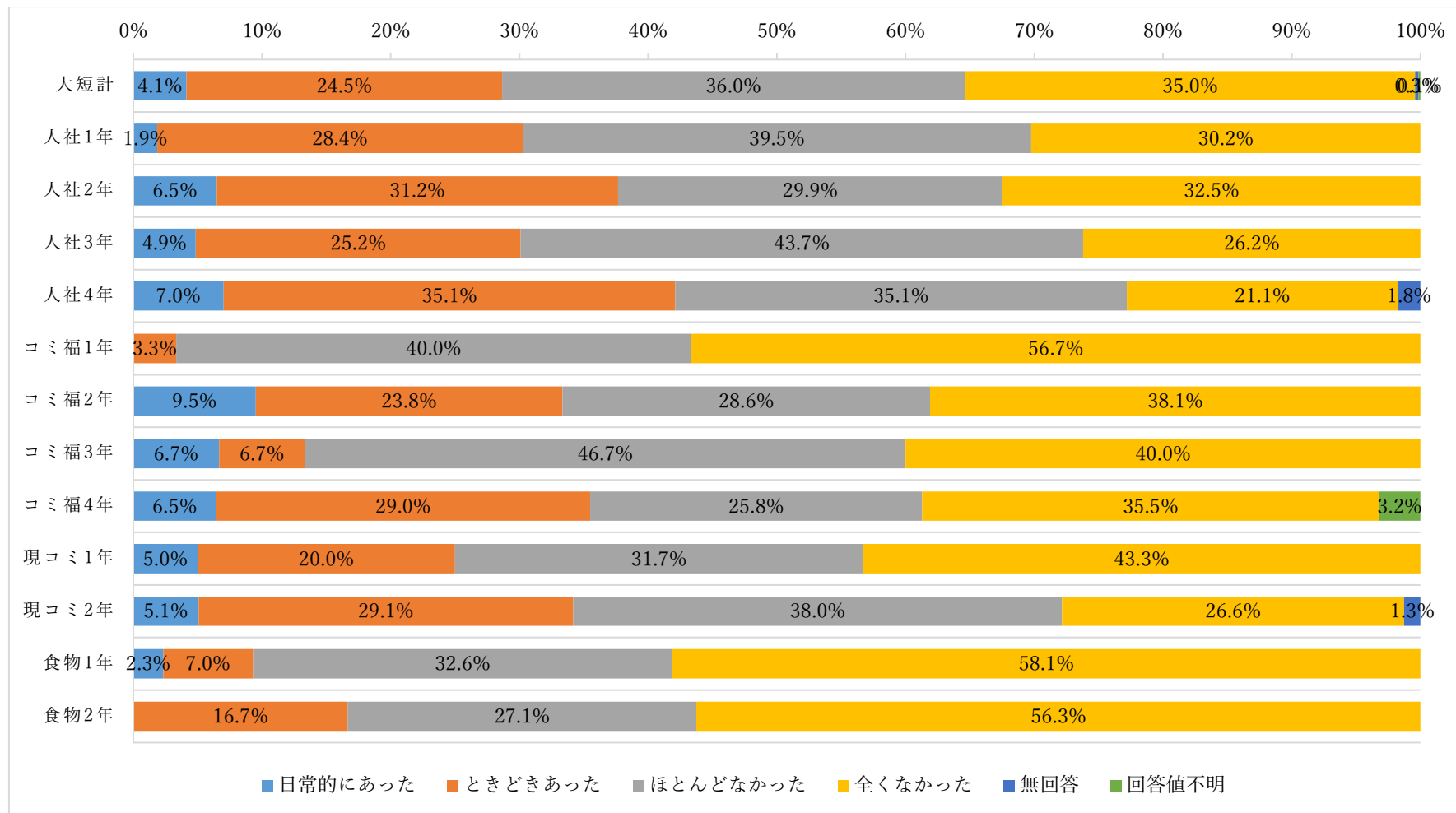
⑤提出期限までに授業課題を提出できなかった

4. 日常的にした 3. ときどきした 2. ほとんどしなかった 1. 全くしなかった



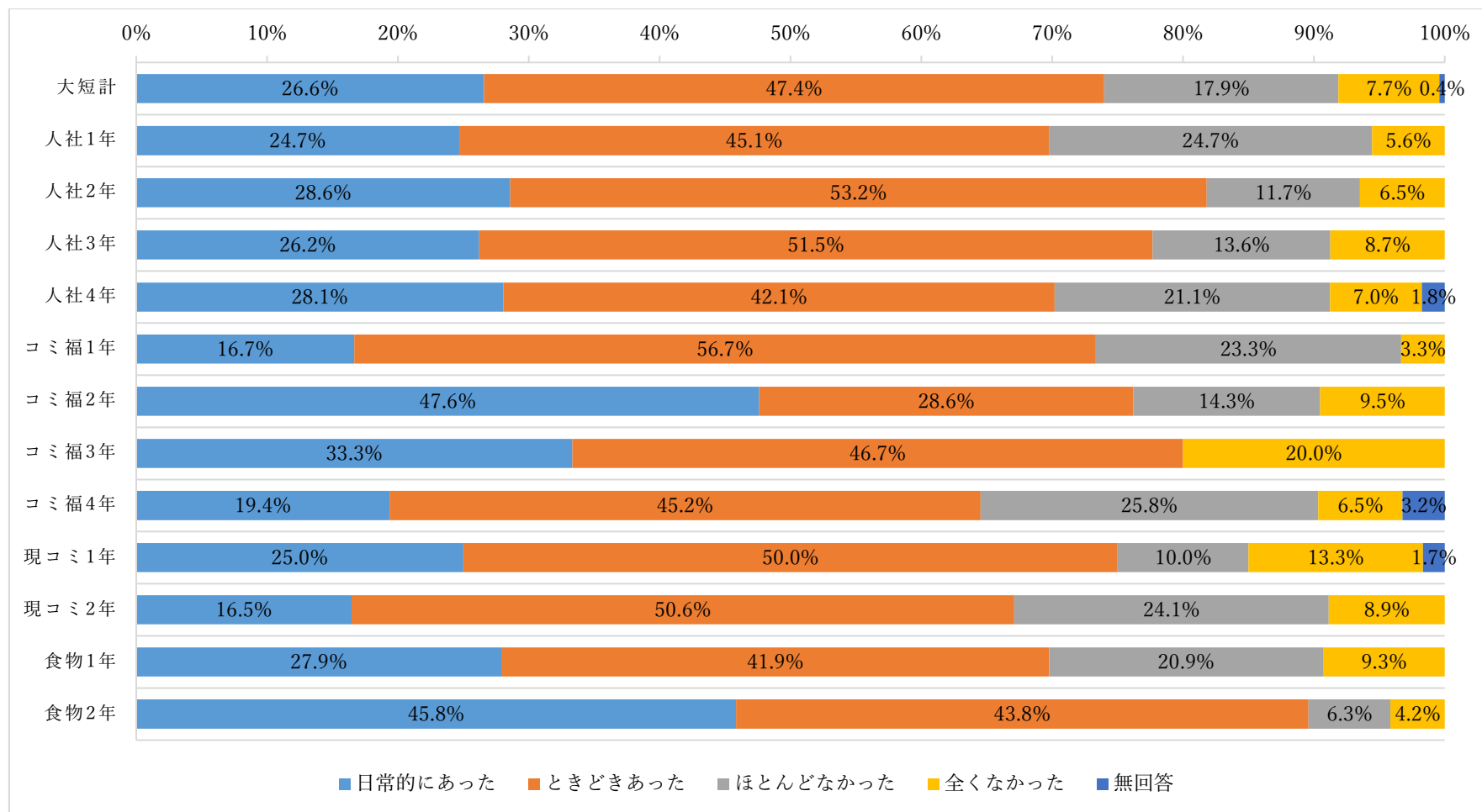
⑥ 正当な利用なく授業を欠席した

4. 日常的にした 3. ときどきした 2. ほとんどしなかった 1. 全くしなかった



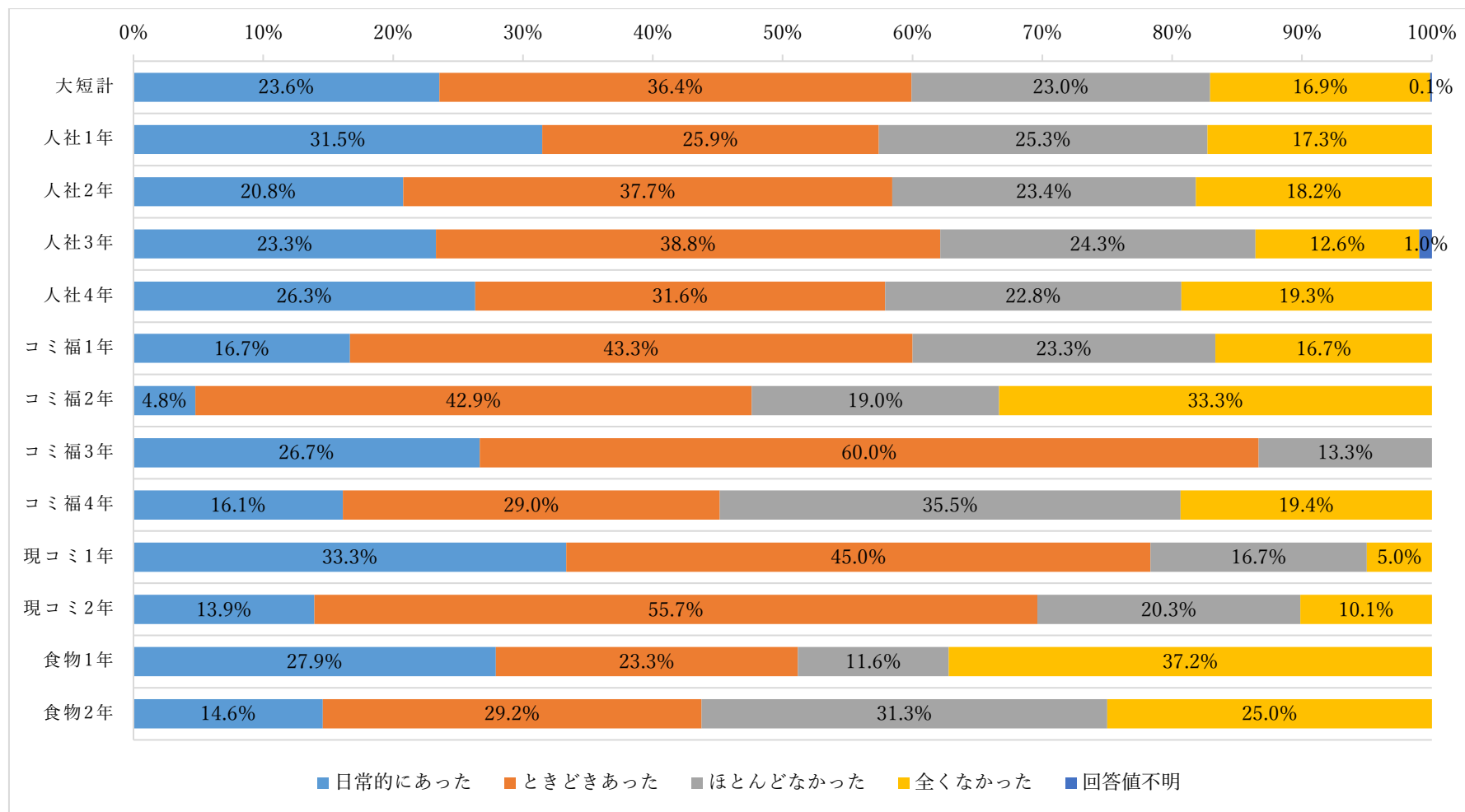
⑦授業以外に他の学生と勉強したり授業内容を話したりした

4. 日常的にした 3. ときどきした 2. ほとんどしなかった 1. 全くしなかった



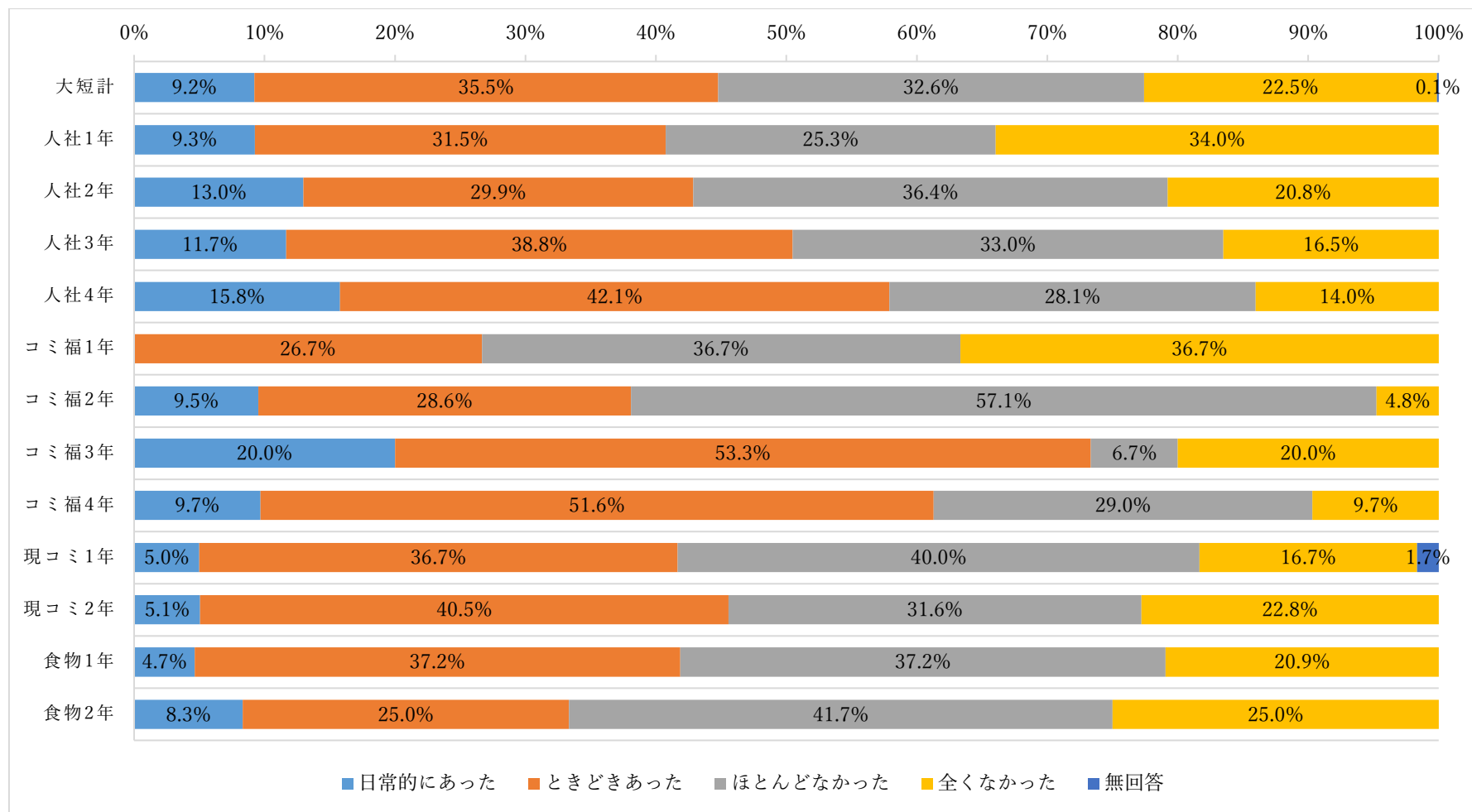
⑧外国人留学生や社会人学生と話した

4. 日常的にした 3. ときどきした 2. ほとんどしなかった 1. 全くしなかった



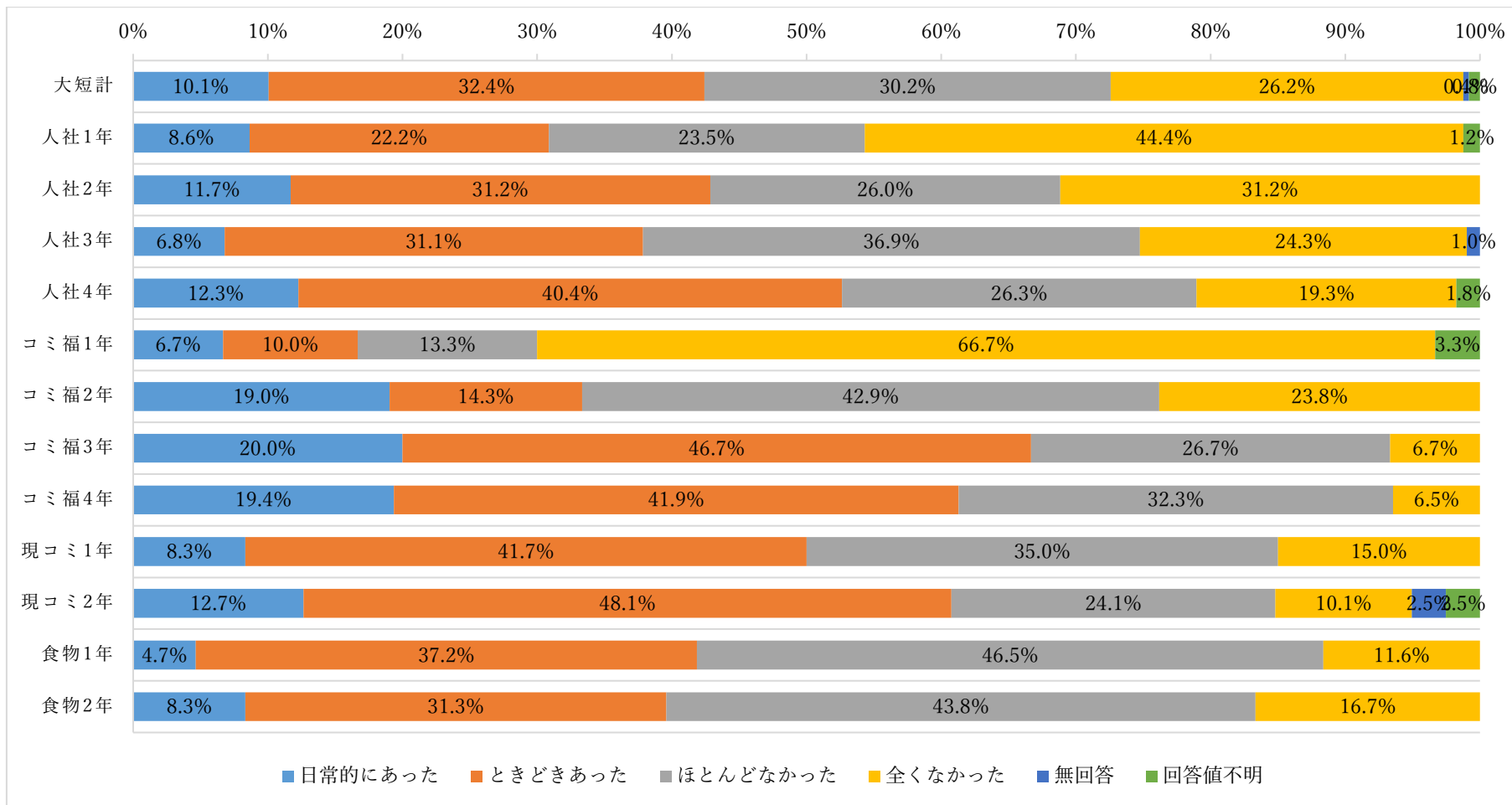
⑨教職員に学習の相談をした

4. 日常的にした 3. ときどきした 2. ほとんどしなかった 1. 全くしなかった



⑩教職員に進路の相談をした

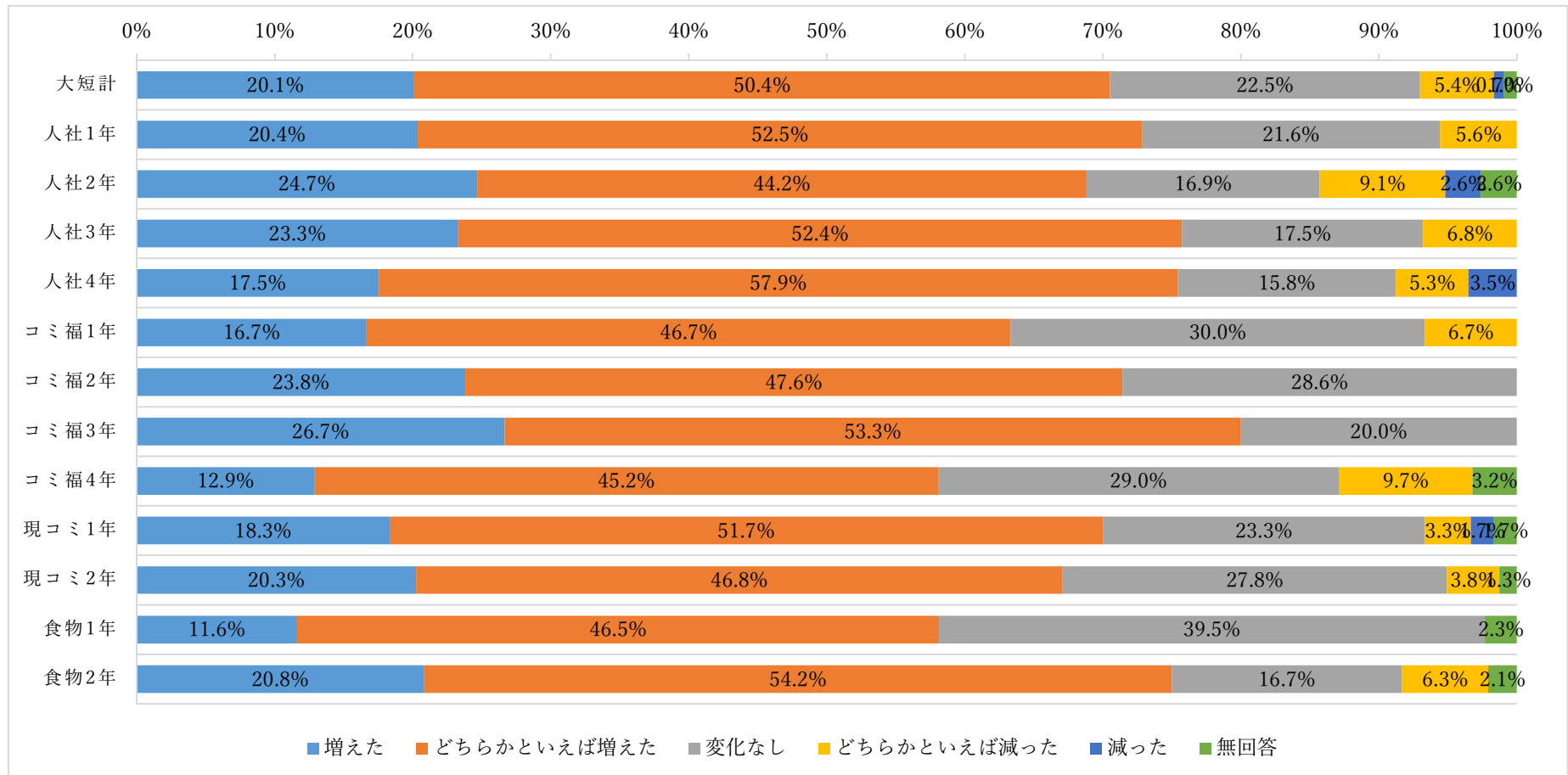
4. 日常的にした 3. ときどきした 2. ほとんどしなかった 1. 全くしなかった



(6) 入学した時点と比べ、あなたの能力や知識はどのように変化しましたか。

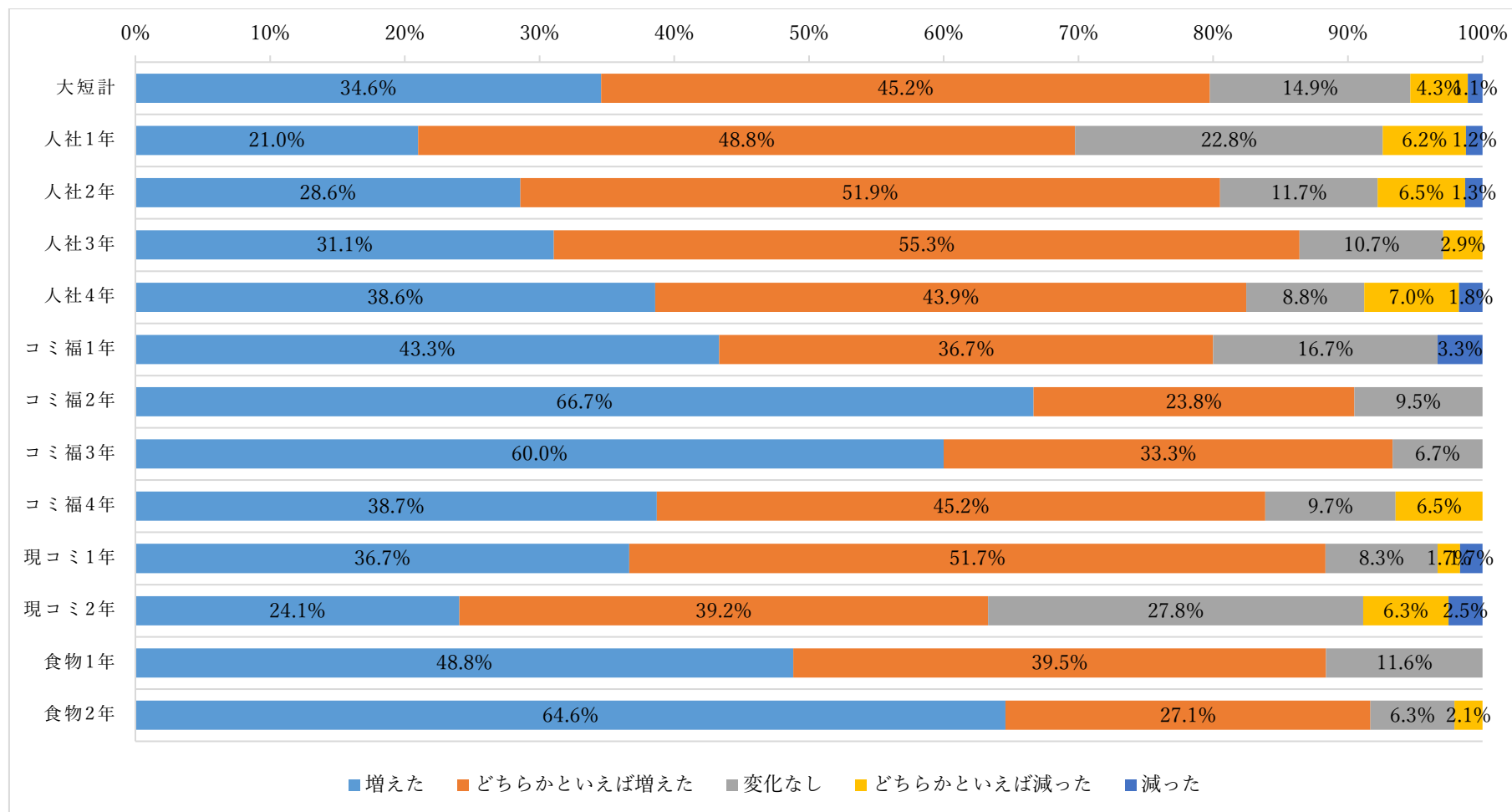
①文化、社会と自然に関する知識（いわゆる一般的な教養）

5. 増えた 4. どちらかといえば増えた 3. 変化なし 2. どちらかといえば減った 1. 減った



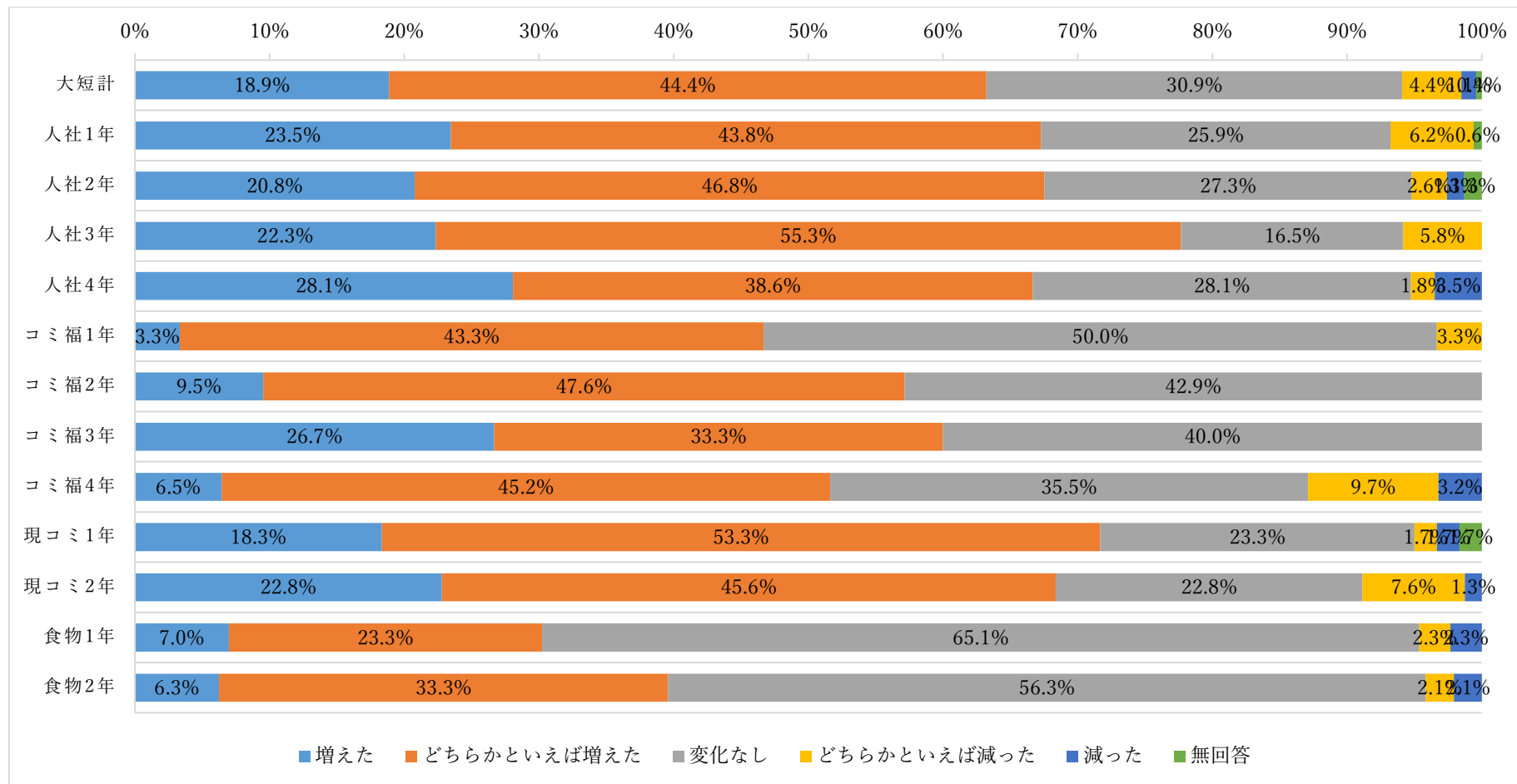
②専門分野の知識

5. 増えた 4. どちらかといえば増えた 3. 変化なし 2. どちらかといえば減った 1. 減った



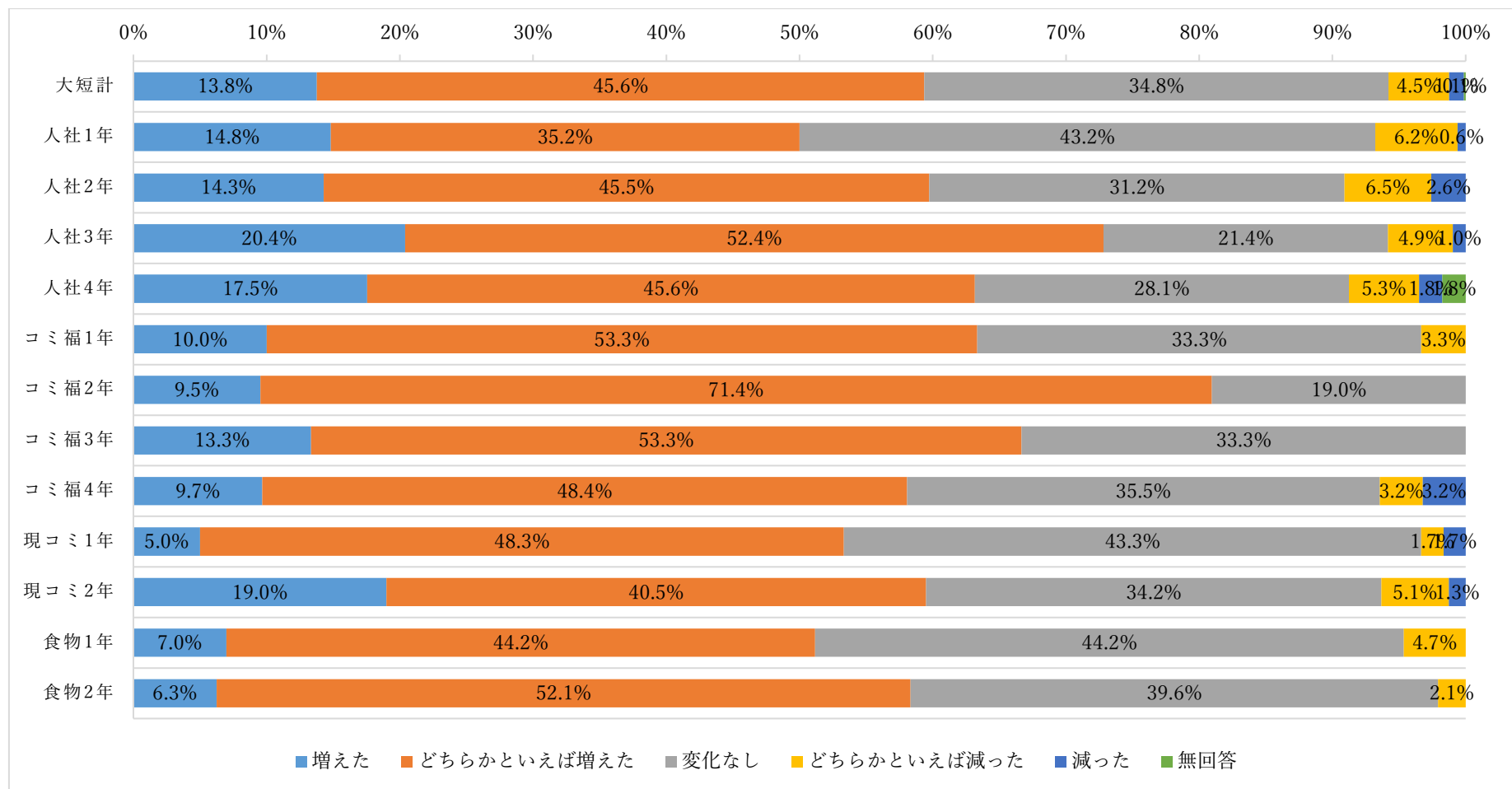
③異文化の人々に関する知識

5. 増えた 4. どちらかといえば増えた 3. 変化なし 2. どちらかといえば減った 1. 減った



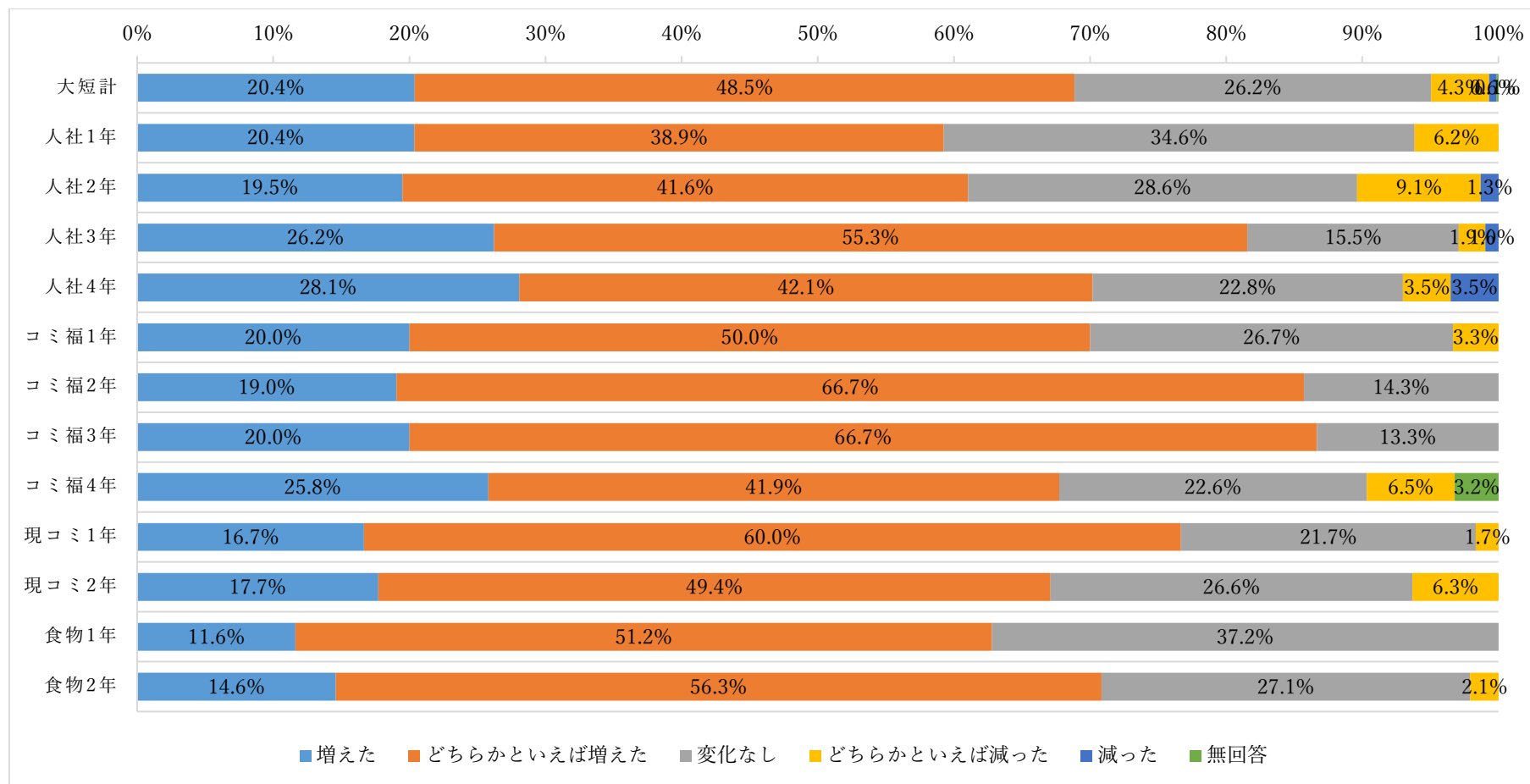
④自分の意見をわかりやすく伝える力

5. 増えた 4. どちらかといえば増えた 3. 変化なし 2. どちらかといえば減った 1. 減った



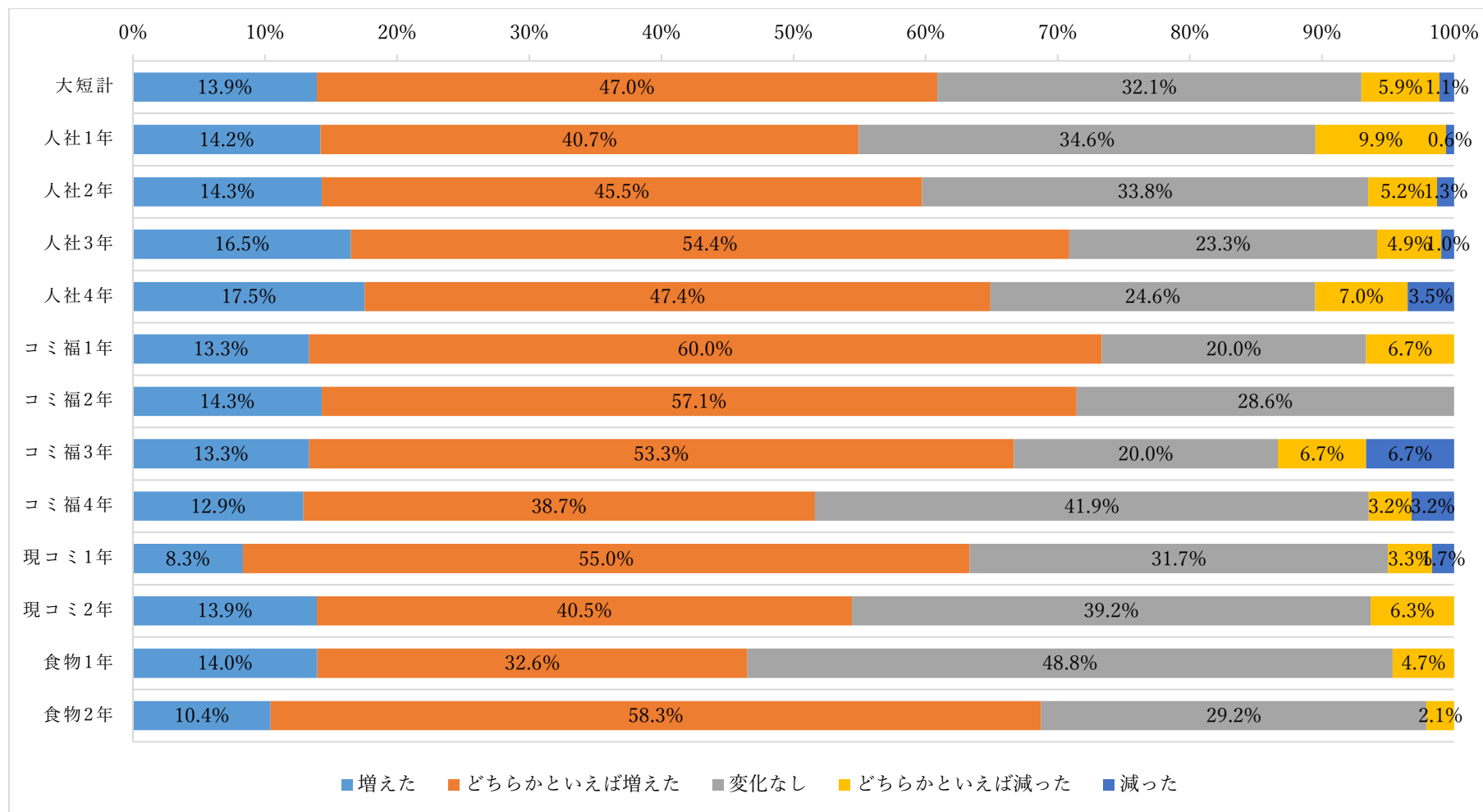
⑤相手の意見をていねいに聞く力

5. 増えた 4. どちらかといえば増えた 3. 変化なし 2. どちらかといえば減った 1. 減った



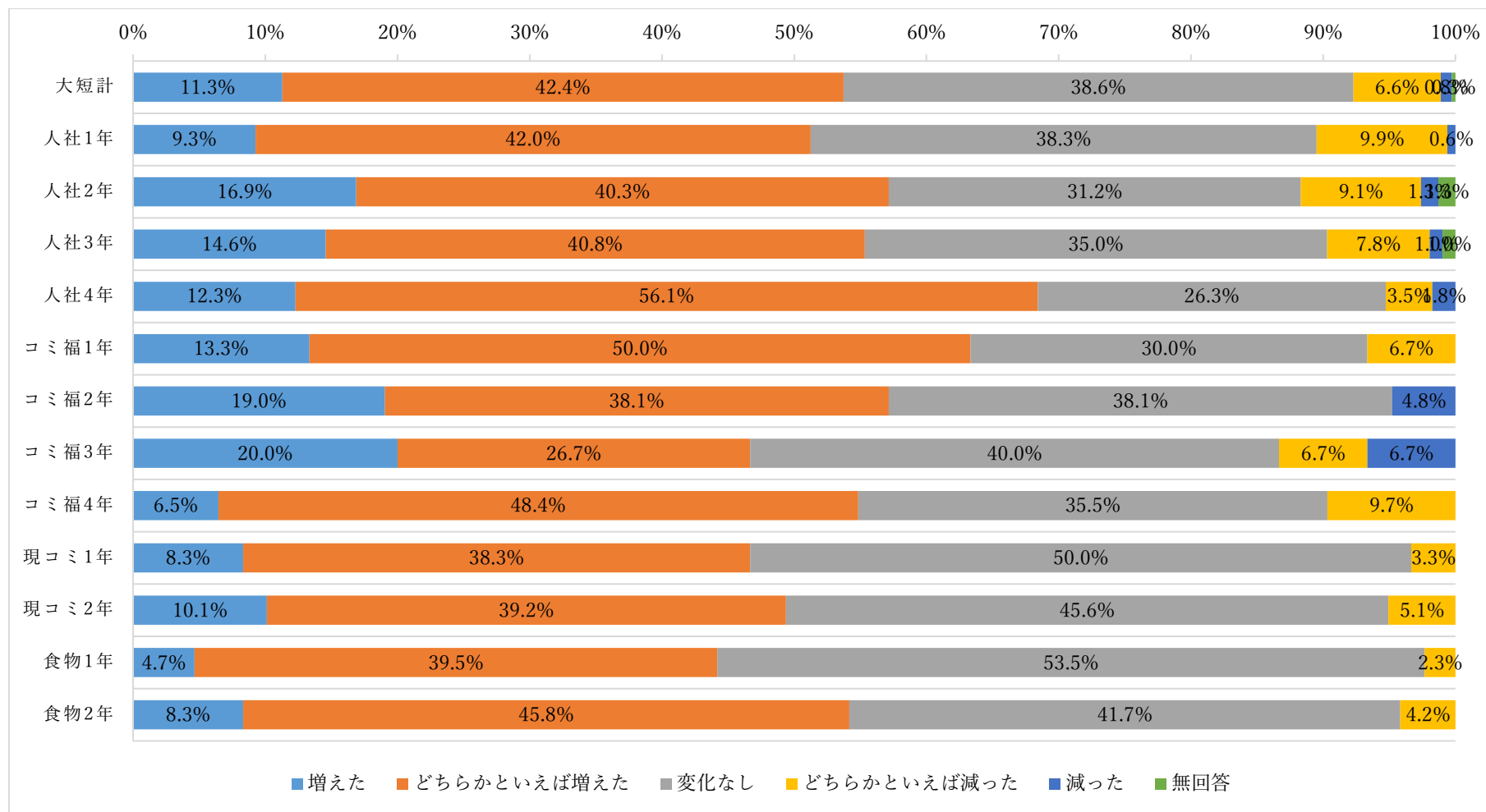
⑥自分の意見をわかりやすく書く力

5. 増えた 4. どちらかといえば増えた 3. 変化なし 2. どちらかといえば減った 1. 減った



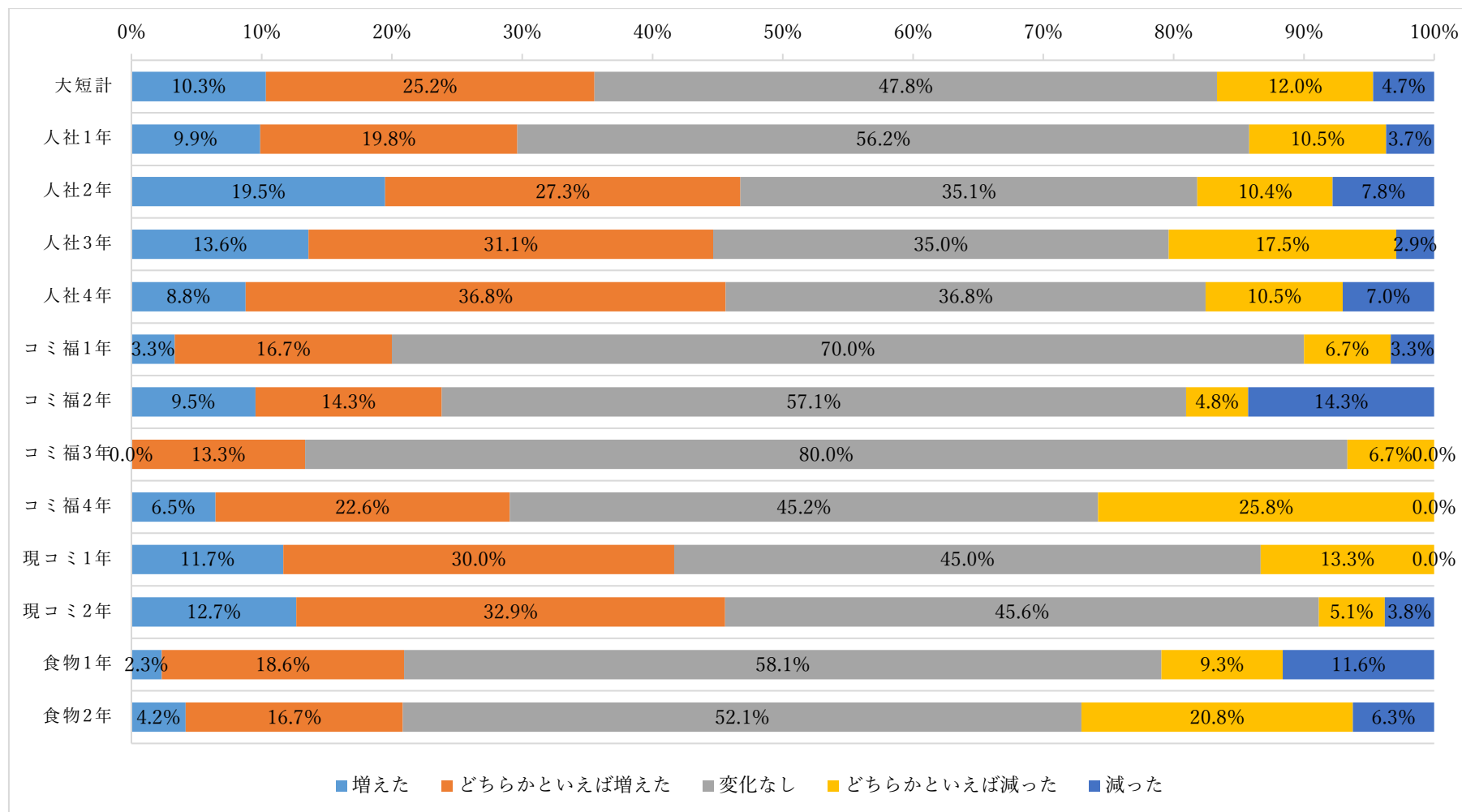
⑦文章の要点を適格に読みとる力

5. 増えた 4. どちらかといえば増えた 3. 変化なし 2. どちらかといえば減った 1. 減った



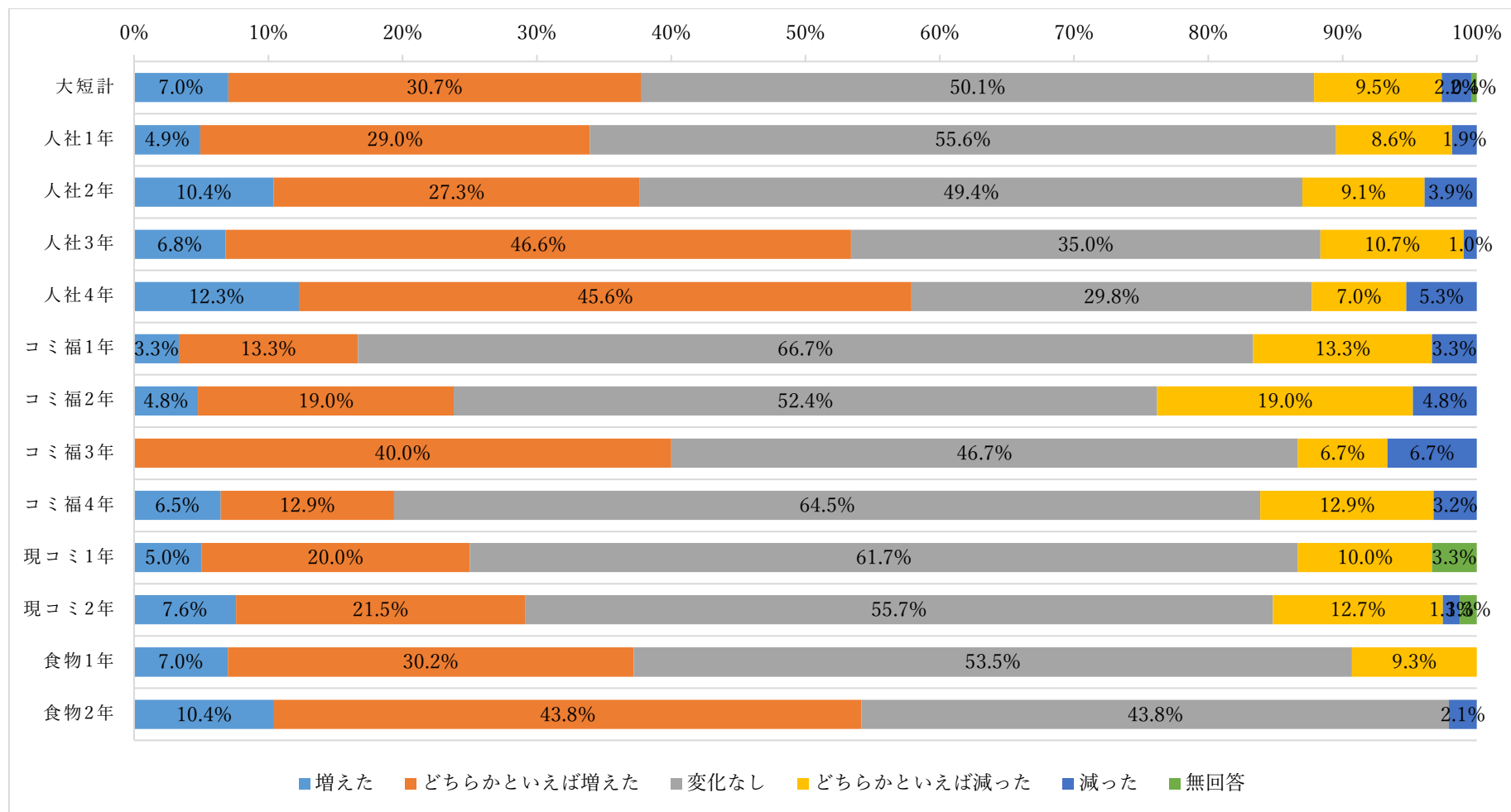
⑧外国語でコミュニケーションをする力（読む・書く・聞く・話す）

5. 増えた 4. どちらかといえば増えた 3. 変化なし 2. どちらかといえば減った 1. 減った



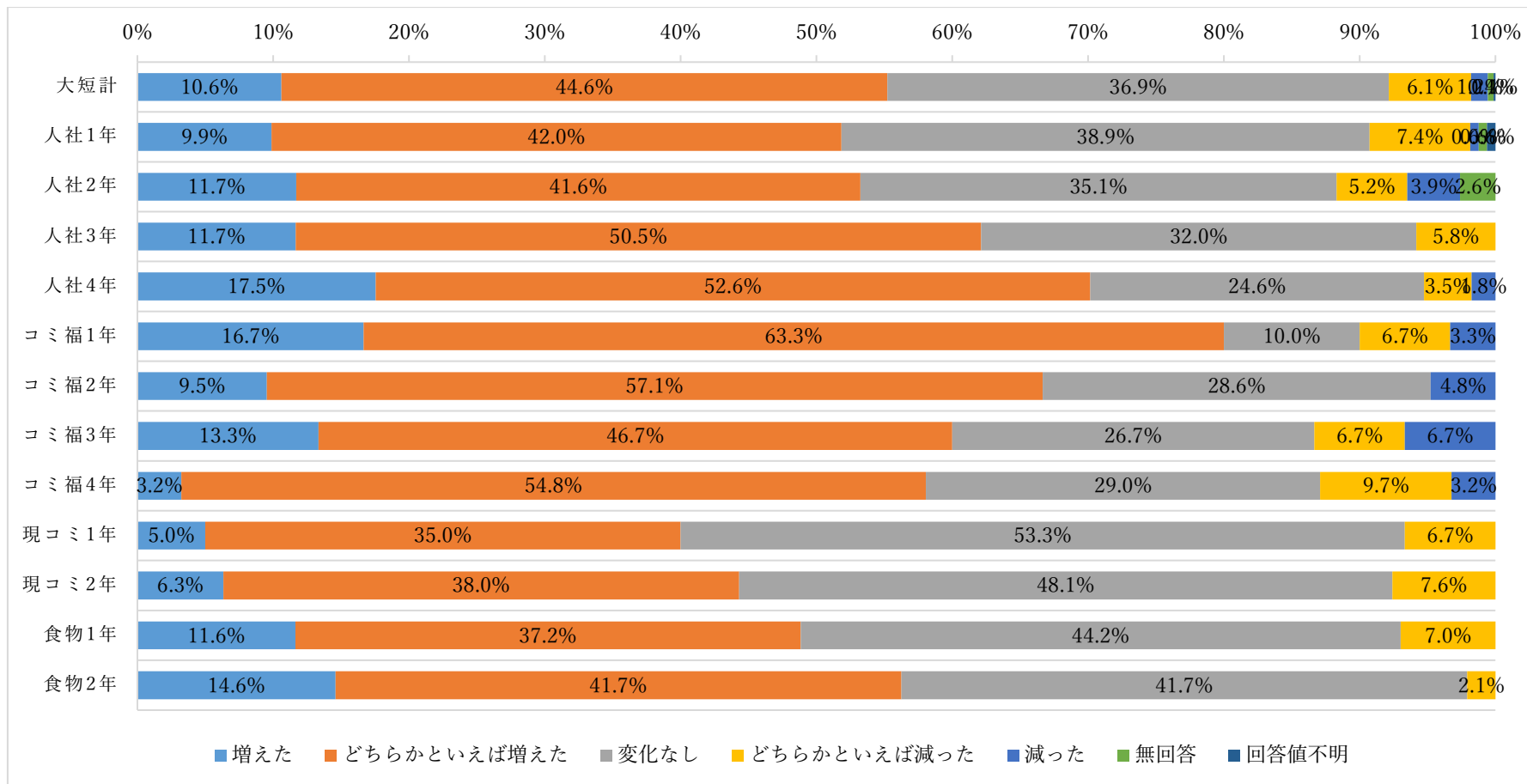
⑨数量的に分析し表現する力

5. 増えた 4. どちらかといえば増えた 3. 変化なし 2. どちらかといえば減った 1. 減った



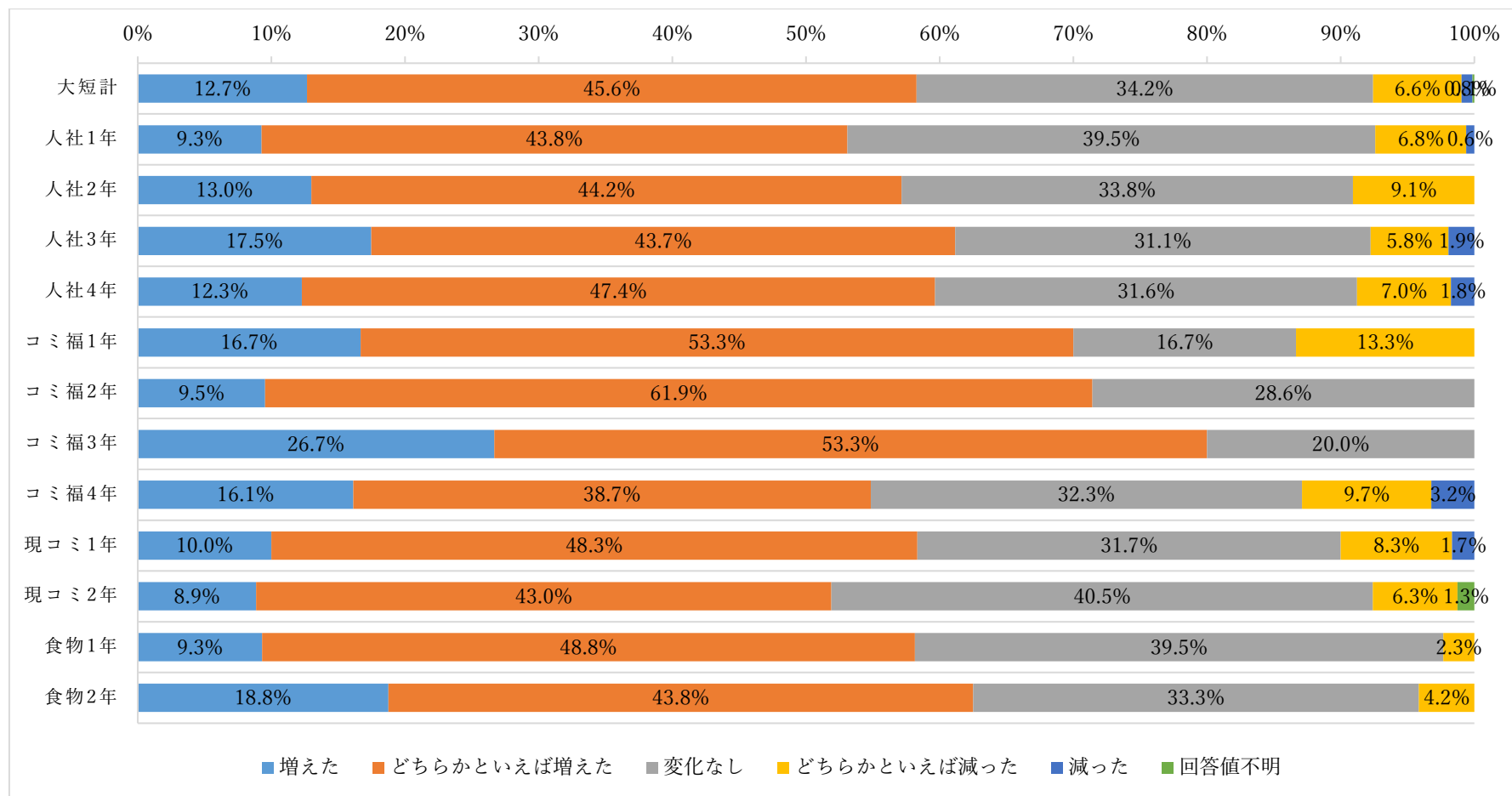
⑩問題を発見し、解決に必要な情報を分析、整理しその問題を解決する力

5. 増えた 4. どちらかといえば増えた 3. 変化なし 2. どちらかといえば減った 1. 減った



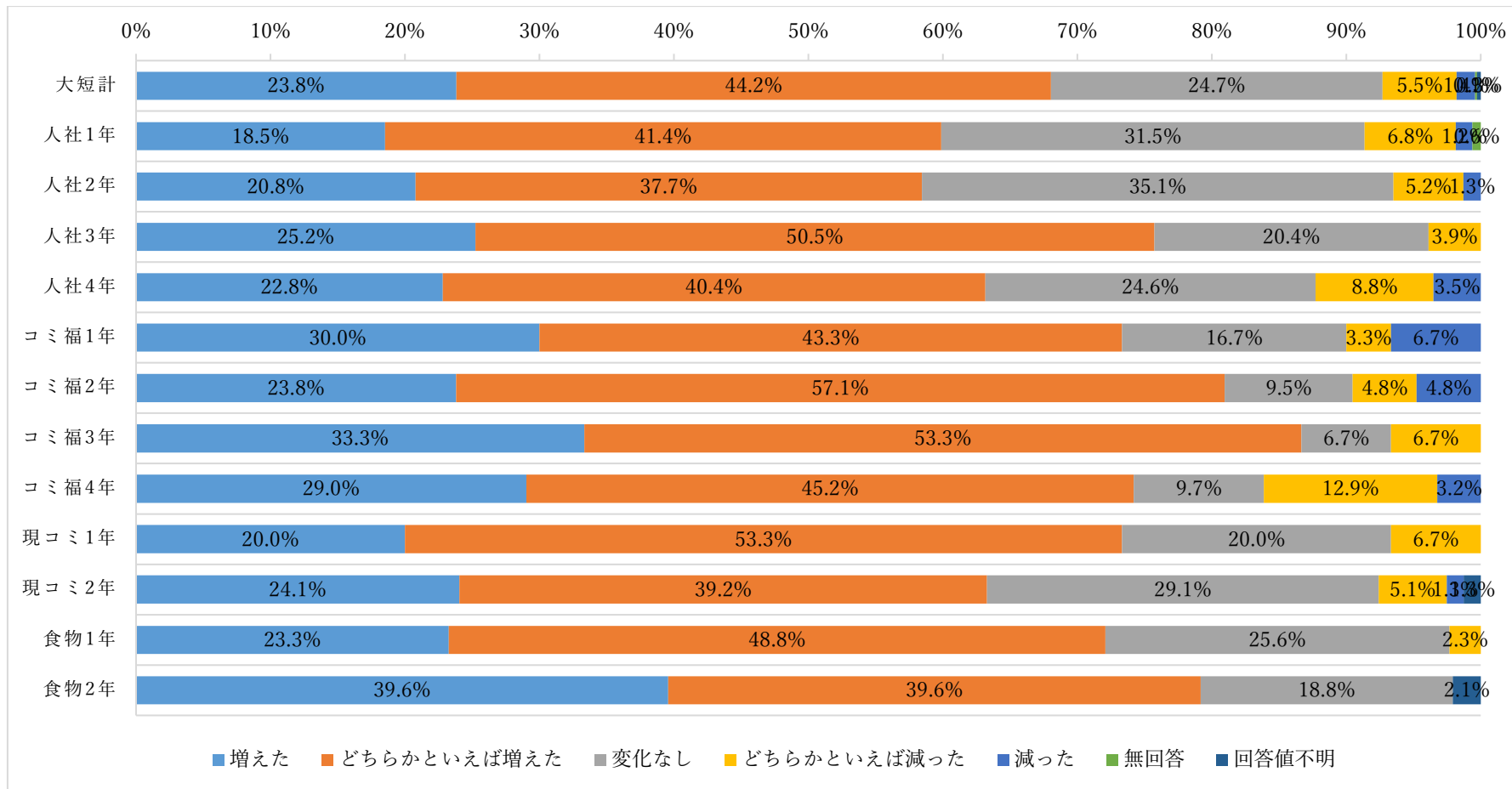
⑪設定した目標、計画に向けて確実に行動する力

5. 増えた 4. どちらかといえば増えた 3. 変化なし 2. どちらかといえば減った 1. 減った



⑫他者と協調、協働して行動する力

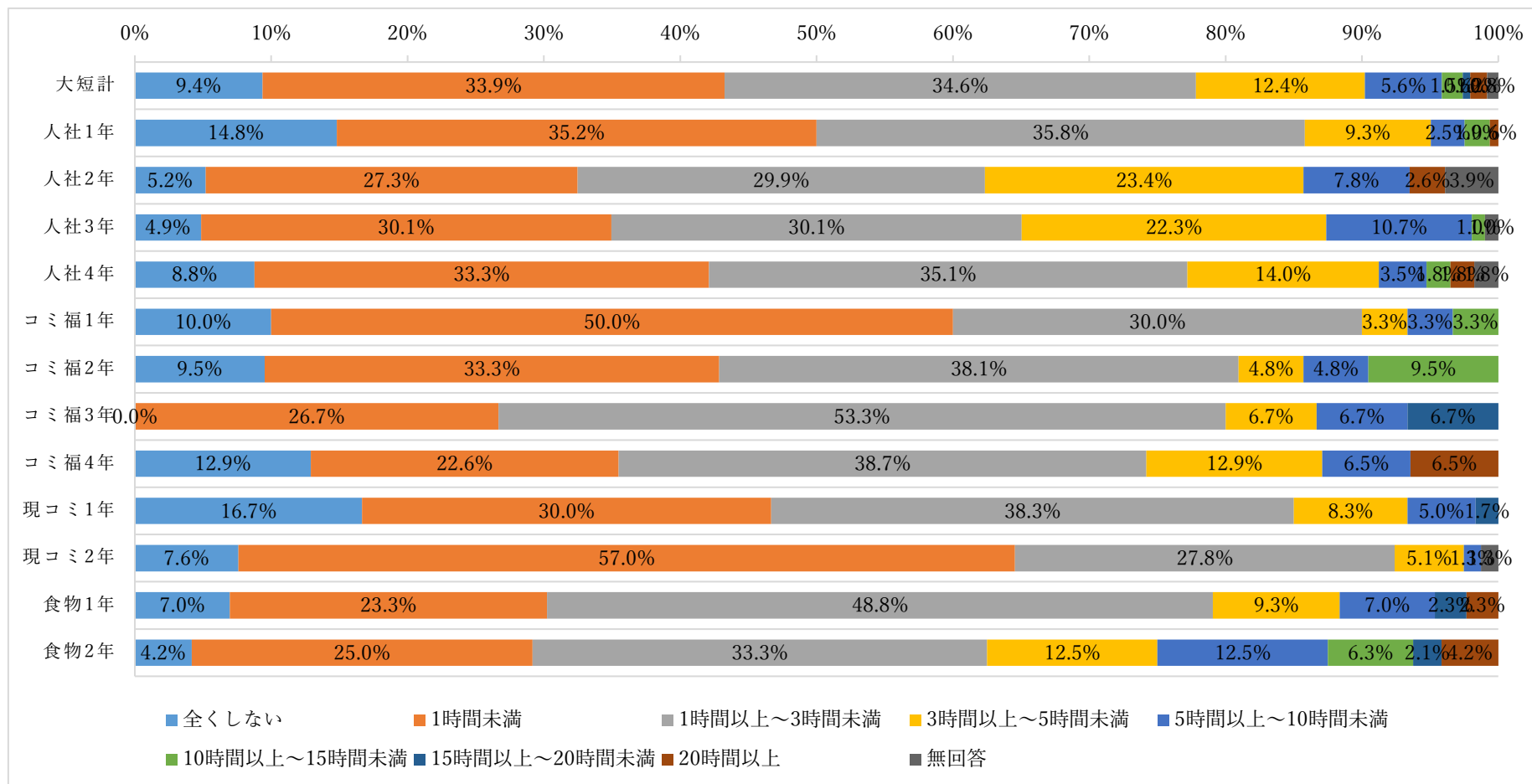
5. 増えた 4. どちらかといえば増えた 3. 変化なし 2. どちらかといえば減った 1. 減った



(7) テスト前や長期休暇ではなく、通常の授業が行われている期間に、次の活動に 1週間あたり どのくらいの時間を費やしていますか。

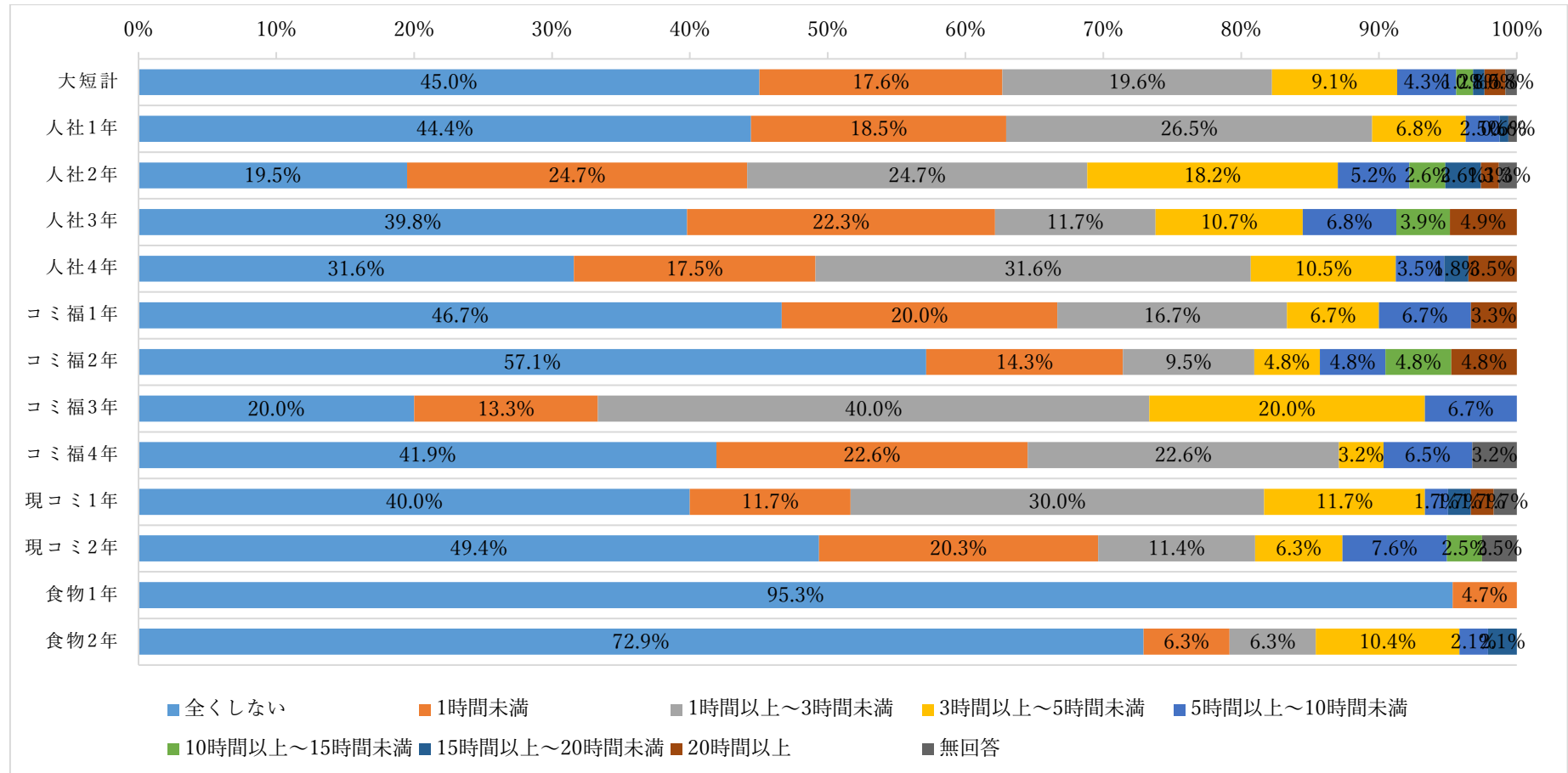
①授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする

1. 全くしない 2. 1時間未満 3. 1時間以上～3時間未満 4. 3時間以上～5時間未満
 5. 5時間以上～10時間未満 6. 10時間以上～15時間未満 7. 15時間以上～20時間未満 8. 20時間以上



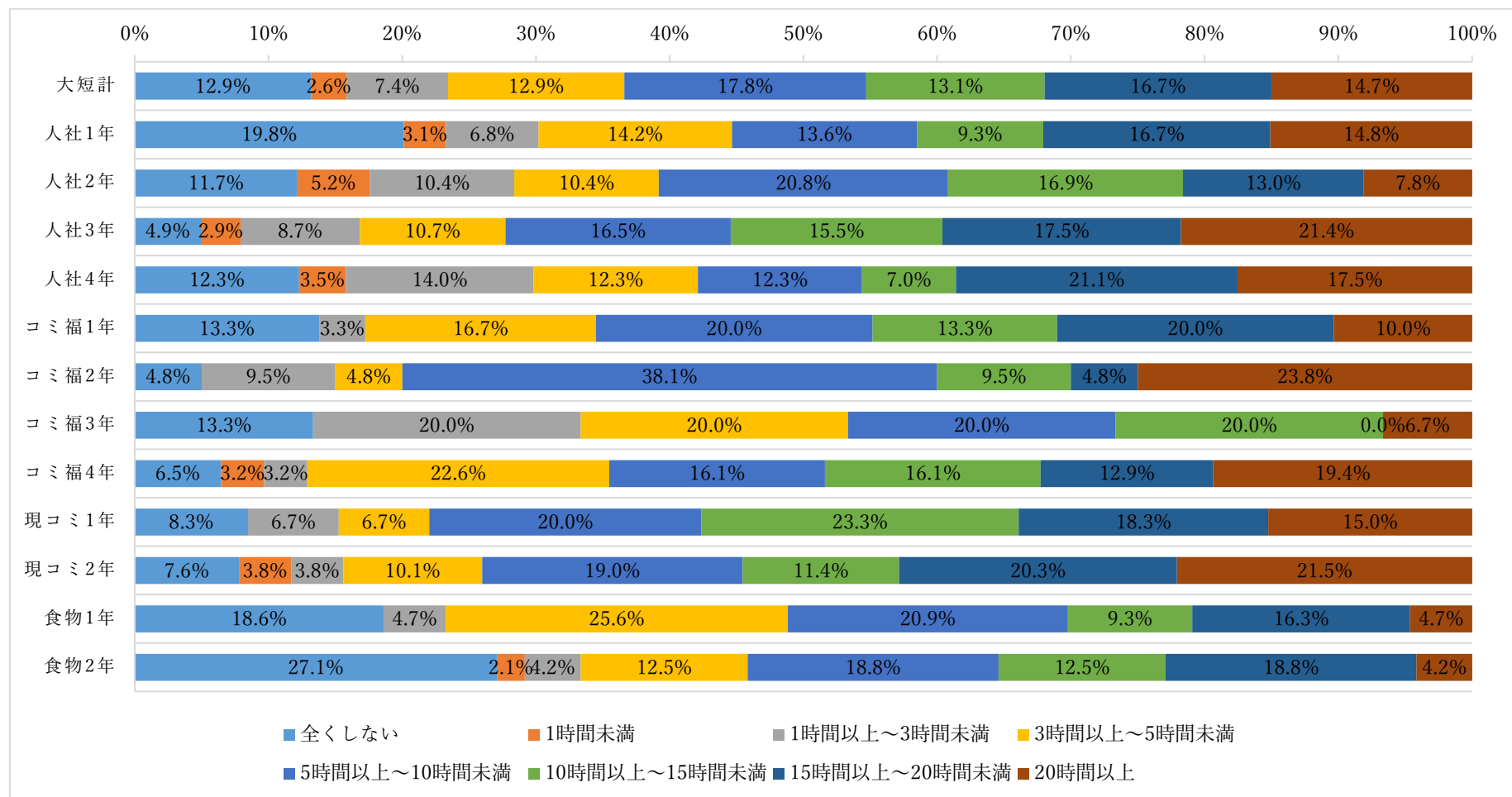
②クラブ、同好会活動に参加する

1. 全くしない 2. 1時間未満 3. 1時間以上～3時間未満 4. 3時間以上～5時間未満
 5. 5時間以上～10時間未満 6. 10時間以上～15時間未満 7. 15時間以上～20時間未満 8. 20時間以上



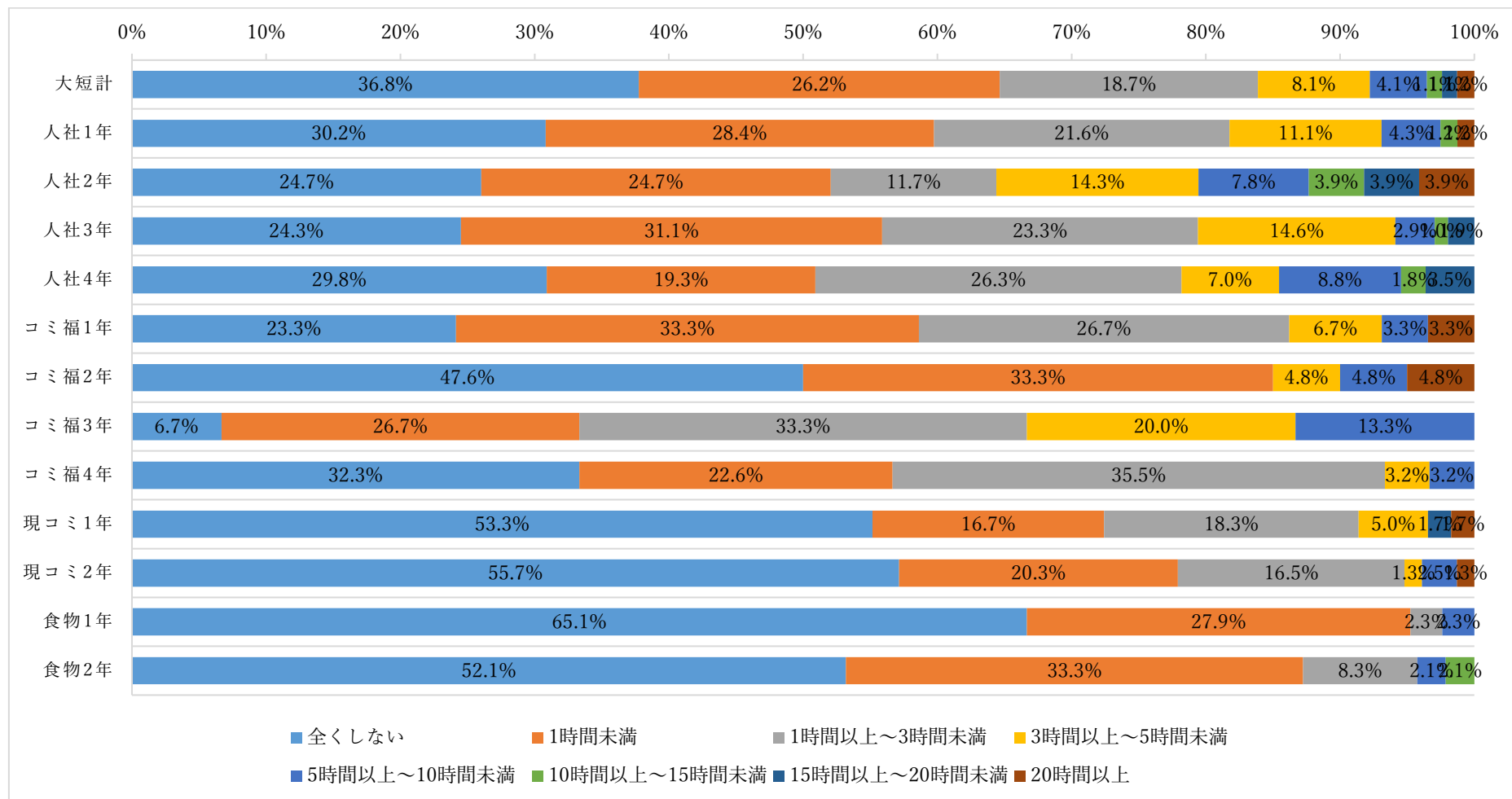
③大学外でアルバイトや仕事をする

1. 全くしない 2. 1時間未満 3. 1時間以上～3時間未満 4. 3時間以上～5時間未満
 5. 5時間以上～10時間未満 6. 10時間以上～15時間未満 7. 15時間以上～20時間未満 8. 20時間以上



④読書をする（マンガ、雑誌を除く）

1. 全くしない 2. 1時間未満 3. 1時間以上～3時間未満 4. 3時間以上～5時間未満
 5. 5時間以上～10時間未満 6. 10時間以上～15時間未満 7. 15時間以上～20時間未満 8. 20時間以上



2019 年度後期 学修行動基礎調査結果

1 調査目的

本調査は、学生一人ひとりの学修行動について継続的に追跡することにより、本学が提供している教育・学修支援の方法や内容を評価するとともに、それに基づいての教育改善に役立てることを目的にしている。

2 実施方法と回収状況

本調査は、2020 年 1 月に実施した。調査対象は大学及び短期大学の全学生。回答率は人間社会学科 78.1%(70.0%)、コミュニティ福祉学科 54.8%(51.9%)、現代コミュニケーション学科 77.7%(77.9%)、食物学科 85.0%(91.8%)。

※括弧内は昨年度数値。

3 調査結果

(1) 入学試験形態の構成比

入学に際して受験した入学試験形態では、指定校推薦入試が多く 35%(40.7%)、次に AO 入試、自己推薦入試が 27%(20.3%)となっている。

(2) 片道の通学時間

大学までの片道の通学時間は、1 時間未満が 45.9%(46.9%)と多い。2 時間以上かかると答えた学生は 5.4%(5.5%)。

(3) 居住形態

大学・短大全体の 74.7%(76.6%)の学生は家族または親戚と同居。アパート・マンションに 1 人暮らしをしている学生は、人間社会学科と現代コミュニケーション学科で高い。要因の一つとして留学生であると推察される。

(4) 授業における学修経験

学士課程教育の質保証を図るためには、教育方法や教育内容の充実が求められる。本学の学生の学修経験を調査することから大学の教育方法を確認した。

「①実験、実習、フィールドワークなどを実施し、体験的に学ぶ」には 64.2%(64.2%)の学生が「日常的にあった」「ときどきあった」と回答。実験、実習が必須の食物学科と人文・社会系の他学科とで「日常的にあった」という点で差異がある。また、「②授業の一環でボランティア活動をする」には 25.8%(21.6%)の学生が「日常的にあった」「ときどきあった」と回答。コミュニティ福祉学科では他学科よりも多くなっている。

「④定期的に小テストやレポートが課される」ことに対して、「日常的にあった」「ときどきあった」と回答した学生は 87.1%(88.3%)で、ほとんどの学生が授業において小テストやレポートに取り組んでいる。定期試験前だけでなく、講義期間中から準備学修、事後学修を習慣づけるような授業方法が採られている。「日常的にあった」は、食物学科が 80%以上と他学科と比べて高い。

「⑤教員が提出物にコメントを添えたり添削したりして返却する」ことが「日常的にあった」「ときどきあった」と回答した学生は 67.9%(67.8%)で、提出物をとおして学生が自身の学修状況を振り返る機会がある。このうち、「日常的にあった」は学科別では食物学科が突出して高い。

「⑥学生が自分の考えや研究を発表する」には 75.8%(79.5%)、「⑦学生同士でグループワークをする」は 78.2%(79.6%)の学生が「日常的にあった」「ときどきあった」と回答している。授業に出席して講義を聞くだけでなく、能動的な学修参加を促す形式の授業が増えてきていることが分かる。

(5) 授業内外における学修行動

教育プログラムに対して、学生の授業内外における取組みについて質問をした。

「①授業課題のため図書館の資料を利用した」に対して、「日常的にした」「ときどきした」と回答した学生は 64.9%(67.6%)、「②授業課題のため WEB 上の情報を利用した」学生は 82.9%(82.7%)だった。

「③他の学生や教員と、SNS(Facebook LINE Twitter Instagram 等)を利用してコミュニケーションをとった」学生は、72.4%(71.4%)が「日常的にした」「ときどきした」と回答。学科間での差はそれほどない。「④授業に集中して取り組んだ」では「日常的にした」「ときどきした」と回答した学生が 87.9%(86.6%)だった。

「⑤提出期限までに授業課題を提出できなかった」では日常的、ときどきしたに回答した学生は 23.4%(26.5%)で昨年度からは微減したが期限までに課題を提出していない学生が一定数いる。また「⑥正当な理由なく授業を欠席した」は、「日常的にした」は少ないが、「ときどきした」を加えると 28.6%(28.7%)となっている。「⑧外国人留学生や社会人学生と話した」には 60.0%(60.4%)の学生が「日常的にした」「ときどきした」と回答。留学生のいない食物学科も半数が日常的、ときどきしたと回答していて、外国人留学生と日本人学生との交流が全学的に進んでいることが分かる。

(6) 本学入学後の知識・能力の変化

知識・能力において、入学時点と調査時点でどの程度の変化があったかを質問した。

「①文化、社会と自然に関する知識(いわゆる一般的な教養)」には 70.5%(70.0%)、「②専門分野の知識」には 79.8%(81.8%)の学生が「増えた」「どちらかといえば増えた」と回答。

「③異文化の人々に関する知識」には 63.3%(63.3%)の学生が「増えた」「どちらかといえば増えた」と回答。留学生が多く在籍している人間社会学科と現代コミュニケーション学科では「増えた」「どちらかといえば増えた」との回答率が高い。

日常生活のなかでも必要とされるコミュニケーション能力については、「④自分の意見をわかりやすく伝える力」には 59.4%(60.0%)、「⑤相手の意見をていねいに聞く力」には 68.9%(66.0%)、「⑥自分の意見をわかりやすく書く力」には 60.9%(60.3%)、「⑦文章の要点を適格に読み取る力」には 53.7%(53.6%)の学生が「増えた」「どちらかといえば増えた」と回答している。

「⑧外国語でコミュニケーションをする力(読む・書く・聞く・話す)」では「増えた」「どちらかといえば増えた」が 35.5%(37.1%)だった。英語に苦手意識を持っている学生は多いため

「⑨数量的に分析し表現する力」には 37.7%(42.5%)の学生が「増えた」「どちらかといえば増えた」と回答。就職試験における数的処理能力(SPI試験)にも影響することから、一定の学修は必要と思われる。

「⑩問題を発見し、解決に必要な情報を分析、整理しその問題を解決する力」には 55.2%(53.4%)の学生が一定の向上があったと回答しているが、このうち「増えた」という学生は 10.6%(9.9%)とこの能力の養成が求められる。

態度・指向性の面からは、「⑪設定した目標、計画に向けて確実に行動する力」は 58.3%(60.3%)、「⑫他者と協調、協働して行動する力」は 68.0%(68.4%)の学生が一定の向上があったと回答している。

(7)正課外の活動に費やす時間

通常授業が行われている期間に、学生が授業時間以外の活動に1週間あたりどの程度の時間を費やしているのかを質問した。

「① 授業時間以外に授業課題や準備学習、復習をする」については、「1時間未満」もしくは「1時間以上～3時間未満」の回答が多く、回答割合は併せて 68.5%(62.4%)であった。「全くしない」と回答した学生は全体では 9.4%(10.3%)であった。シラバスに明記していることから授業時間外に学修する習慣がついてきていると思われる。今後は更に事前事後の学修を促す状況を作っていくことが必要である。

「② クラブ、同好会活動に参加する」について、全体ではクラブ・同好会に何らか参加していると回答した学生は、約半数いる。食物学科は時間割、履修科目の関係から参加率は低めである。

「③ 大学外でアルバイトや仕事をする」については、全体的にはほとんどの学生がアルバイトをしている。

「④ 読書をする(マンガ、雑誌を除く)」については、全体的に短い。63.0%(62.2%)の学生は週あたりの読書時間が1時間を下回り、内「全くしない」は36.8%(38.4%)であった。読書に長時間を費やす学生は少ない。

課外活動は、就職活動時には企業から質問される事柄でもあるので、できたら活動を行ってほしい。

4 今後の対応について

大学、短大、学科別の傾向について教職員間で情報共有を図り、学生の学修、生活指導等の改善に努めていく。